

事務事業評価調書

事務事業名	吹田市健康づくり推進事業団補助事業				
担当部名	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成3年度	改正 内容												
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	吹田市健康づくり推進活動補助金交付要領													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	6	細節	10							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	公益財団法人吹田市健康づくり推進事業団												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	補助金を交付し、健康づくり事業を支援する。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市民の健康の保持・増進を図ることができる。													
(7)	事業概要	公益財団法人吹田市健康づくり推進事業団が行う健康づくりのための事業に対する補助 ①平和・健康リレーマラソン(7月実施、市内走行) ②みんなの健康展(9月上旬実施、メイシアター) ③健康情報の収集と提供(「健康すいた」の発行、年2回)													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	4	項	1	目	1	大事業	4	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		23,252	23,252	22,212	22,212	23,541							
		人件費	職員数	人	0.10	0.05	0.10	0.10	0.10						
			総額(B)	千円	830	398	836	836	817						
		総事業費(A+B)		24,082	23,650	23,048	23,048	24,358							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		24,082	23,649	23,048	23,048	24,358							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
その他			0	0	0	0	0								
一般財源			24,082	23,649	23,048	23,048	24,358								
財源計(C+D)		24,082	23,649	23,048	23,048	24,358									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	公益財団法人吹田市健康づくり推進事業団												
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 事業参加者数(平和健康リレーマラソン、みんなの健康展)	目標値	(単位:人)	4,500.00	4,500.00	4,500.00
			実績値	(単位:人)	4,572.00	3,442.00	
		達成度(%)		101.6	76.5		
	目標値の積算方法 各事業の合計定員数 平和健康リレーマラソン1,000人 みんなの健康展3,500人	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	5.26	6.70		
			一般財源(単位:千円)	5.26	6.70		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(2) 成果指標		①	指標内容 みんなの健康展アンケート回答者のうち、参加により健康づくりに対する自己意識の変化があった人の割合(平成26年度以降)	目標値	(単位:%)	100.00	100.00
	実績値			(単位:%)	88.90	80.60	
	達成度(%)		88.9	80.6			
	目標値の積算方法 アンケート回答者全員 (変わった、少し変わったの合計)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	270.49	285.96		
			一般財源(単位:千円)	270.49	285.96		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容			目標		
	②	成果内容			達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		市民の自主的な健康づくりの実践活動を促進し、支援することは、市民の健康増進に寄与するものであることから継続事業とする。				

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	吹田市健康づくり推進事業補助事業	事業区分	その他
事務事業番号	00574				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	14	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	12	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
		評価点合計 (100点満点)	72	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	保健センター	事務事業番号	00574
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

評価の視点(5)③については、他市において比較可能な類似事業がないことから、事業費の水準等の比較・分析を行うことができない。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	主要な政策課題としての取組	部として重点的な取組	その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>事業団が実施する事業については、少子高齢化が進む中、市民の健康づくりへの期待に応えるため、常に健康づくりに関する最新の情報を提供するとともに、各種事業の実施にあたっては外部の関係団体の意見も聴取し、独自性を出しながら実施している。</p> <p>また、一次予防のための健康づくりだけでなく、スポーツ関連の団体とも連携し、体力づくりの観点も含め、幅広く、保健の枠を超えた健康づくり事業を展開するなど、より良い事業計画作りに努めている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	健康被害調査委員会事業				
担当部名	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和23年度	改正内容	平成26年10月1日付けで、定期予防接種に水痘及び高齢者肺炎球菌を追加。											
(2)	直近の改正	平成26年度													
(3)	根拠法令等	予防接種法、吹田市予防接種健康被害調査委員会規則													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部		<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)		<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)									
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	6	細節	20							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	予防接種健康被害者												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	予防接種による健康被害の発生について医学的見地から調査を行う。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	調査された資料を国へ報告。													
(7)	事業概要	吹田市が実施する予防接種による健康被害を受けた本人やその保護者から、本市に申請があった場合、調査委員会を開く。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	4	項	1	目	3	大事業	1	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		205	0	246	0	246							
		人件費	職員数	人	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10						
			総額(B)	千円	830	0	836	0	817						
		総事業費(A+B)		1,035	0	1,082	0	1,063							
		特定財源(C)		0	0	184	0	184							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	184	0	184						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		1,035	0	898	0	879							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			1,035	0	898	0	879								
財源計(C+D)		1,035	0	1,082	0	1,063									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00				
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00				
(3) の3が困難な場合を示す	①	活動内容	吹田市が実施する予防接種による健康被害を受けた本人やその保護者から、本市に申請があった場合、調査委員会を開く。		目標	予防接種による健康被害の発生について医学的見地から調査を行う。		
	②	成果内容	調査された資料を国へ報告。		達成状況	平成27年度は健康被害調査委員会の開催実績無し。平成25年度の健康被害申請1件は、平成27年7月に審査結果通知あり。		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		定期予防接種により健康被害を受けた本人又はその保護者から当該申請があった場合には、予防接種健康被害調査委員会を開催する必要があり、今後も予防接種法に追加されていく定期予防接種による健康被害においても当委員会を開催する必要があるため、今後も継続して事業を実施するべきである。					

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	予防接種健康被害調査委員会事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00575				

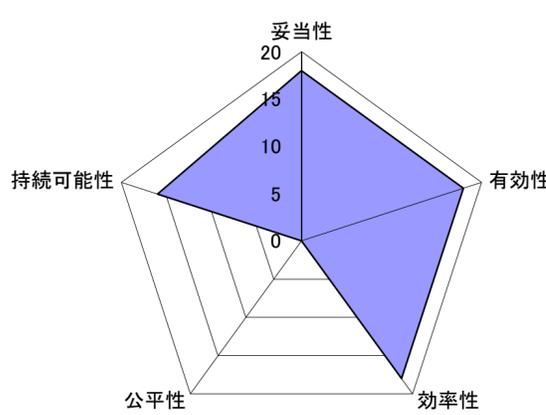
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点
(4) 公平性 (20点)	0	④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16			
評価点合計 (100点満点)	87	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健センター	事務事業番号	00575
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>今後も、予防接種法による定期予防接種が追加されていく見込みであり、予防接種健康被害調査委員会事業の必要性は極めて大きいと考える。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

予防接種法の改正により、平成26年10月から水痘及び(成人用)肺炎球菌の2ワクチンが定期予防接種に含まれた。定期予防接種により健康被害を受けた本人又はその保護者から当該申請があった場合には、予防接種健康被害調査委員会を開催する必要があるため、今後も予防接種法に追加されていく定期予防接種による健康被害においても当委員会を開催する必要があるため、今後も継続して事業を実施すべきである。

事務事業評価調書

事務事業名	予防接種事業				
担当部名	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和23年度	改正 内容	平成26年10月1日付けで、定期予防接種に水痘及び高齢者肺炎球菌を追加。											
(2)	直近の改正	平成26年度													
(3)	根拠法令等	予防接種法、吹田市予防接種事業実施要領													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部		<input checked="" type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)		<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)									
		一部にチェックした場合はその説明		MRワクチン1期2歳から5歳未満でMRワクチン1期未接種者 MRワクチン2期小学校就学後7歳6か月未満でMRワクチン2期未接種者											
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	6	細節	20							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	定期の予防接種に定める年齢												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	予防接種の実施によって伝染のおそれのある疾病の発生及びまん延を予防。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	公衆衛生の向上及び増進が図られる。													
(7)	事業概要	予防接種法で定められた伝染のおそれのあるA類疾病(ジフテリア、破傷風、百日せき、ポリオ、麻しん、風しん、日本脳炎、結核、ヒトパピローマウイルス・インフルエンザ菌b型・小児肺炎球菌・水痘)及び、B類疾病(インフルエンザ・高齢者肺炎球菌)の予防接種を行う。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	4	項	1	目	3	大事業	2	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		726,107	813,605	794,113	826,540	847,903							
		人件費	職員数	人	2.50	2.80	2.50	2.50	2.50						
			総額(B)	千円	20,750	22,252	20,880	20,880	20,425						
		総事業費(A+B)		746,857	835,857	814,993	847,420	868,328							
		(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0						
			国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		(内訳)	市負担(D)		746,857	835,857	814,993	847,420	868,328						
			地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			746,857	835,857	814,993	847,420	868,328								
財源計(C+D)		746,857	835,857	814,993	847,420	868,328									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	一般社団法人 吹田市医師会										
				②	一般社団法人 摂津市医師会										
				③	上記以外の高齢者介護施設及び医療機関										
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	定期予防接種(A類疾病)の接種者数	目標値	(単位:件)	72,960.00	73,658.00	73,882.00
			実績値	(単位:件)	74,572.00	74,442.00	/	
		達成度(%)			102.2	101.1		
	目標値の積算方法	予防接種対象者数(当初予算積算件数)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		11.18		11.38
				一般財源(単位:千円)		11.18	11.38	
	(2) 成果指標	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) 困難な場合		①	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	/	
	達成度(%)			0.0	0.0			
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
の3が困難な場合を示す	①	活動内容				目標		
	②	成果内容	本事業の実施によって接種率は高水準で推移しており、A類疾病びB類疾病の発生及びまん延の予防に効果が得られていると考える。			達成状況	疾病の発生及びまん延の予防についての達成状況を測定する代表的な指標設定は困難。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		<p>国は、予防接種法に基づく定期の予防接種の種類を拡充していく方針であり、平成28年10月からのB型肝炎ワクチン導入に向け予防接種法の改正が予定されているが、それに伴う自治体の財政負担軽減のための十分な財政支援策を講じるまでには至っていない。</p> <p>本市においても、今後も接種率の向上に努めること、また、平成28年度中の導入が検討されているB型肝炎ワクチン等、予防接種法による定期の予防接種が拡充された場合には、本事業も併せて拡充を図ることが必要であるが、それに伴う財源確保が課題となっている。</p>					

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	予防接種事業	事業区分	その他
事務事業番号	00576				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16			
評価点合計 (100点満点)	94	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健センター	事務事業番号	00576
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

予防接種法による定期予防接種を確実に実施し、その接種率を向上させることが、市民を感染症から守り、また、感染拡大を抑止する重要な対策となっていくと考える。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>今後も、予防接種法による定期予防接種が追加されていく見込みであり、予防接種事業の必要性は極めて大きいと考える。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

予防接種法の改正により、平成26年10月から水痘及び(成人用)肺炎球菌の2ワクチンが定期予防接種に含まれた。
 国においては、小児に対するB型肝炎ワクチン、おたふくかぜワクチン及びロタウイルスワクチンについても定期の予防接種の対象とすべく検討されている。
 ※子宮頸がん予防ワクチン接種事業・インフルエンザ菌b型(ヒブ)ワクチン接種事業・小児用肺炎球菌ワクチン接種事業の3事業は、平成26年度から本事業に統合。

事務事業評価調書

事務事業名	予防接種健康被害補償事業				
担当部名	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和23年度	改正 内容	平成26年10月1日付けで、定期予防接種に水痘及び高齢者肺炎球菌を追加。											
(2)	直近の改正	平成26年度													
(3)	根拠法令等	予防接種法													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部		<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)		<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)									
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	6	細節	20							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	予防接種法により健康被害と認定された者又はその養育者												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	予防接種法により健康被害と認定された者又はその養育者に対して給付を行う。												
		結果 (どのような効果が得られるのか)	予防接種法により健康被害と認定された者又はその養育者が救済される。												
(7)	事業概要	予防接種法に定める予防接種による健康被害と認定された者に対し、医療費・医療手当、障害年金等を支給する。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	4	項	1	目	3	大事業	3	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		9,474	8,453	9,448	8,802	9,658							
		人件費	職員数	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10						
			総額(B)	千円	830	795	836	836	817						
		総事業費(A+B)		10,304	9,248	10,284	9,638	10,475							
		特定財源(C)		7,105	6,340	7,086	6,602	7,243							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		7,105	6,340	7,086	6,602	7,243						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		3,199	2,908	3,198	3,036	3,232							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			3,199	2,908	3,198	3,036	3,232								
財源計(C+D)		10,304	9,248	10,284	9,638	10,475									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 予防接種健康被害認定者数	目標値	(単位:人)	3.00	3.00	/
			実績値	(単位:人)	3.00	4.00	
			達成度(%)		100.0	133.3	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	3,082.67	2,409.50		
			一般財源(単位:千円)	969.33	759.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容 予防接種健康被害救済給付の受給者数	目標値	(単位:人)	3.00	3.00	/
			実績値	(単位:人)	2.00	4.00	
			達成度(%)		66.7	133.3	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	4,624.00	2,409.50		
			一般財源(単位:千円)	1,454.00	759.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		予防接種法に基づく予防接種による健康被害と認定された者又はその養育者に対して、その補償として医療費や年金等を支給することで救済措置を行うものであって、法により実施が義務付けられているため、今後も事業を継続していくことが重要である。				

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	予防接種健康被害補償事業	事業区分	その他
事務事業番号	00577				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健センター	事務事業番号	00577
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

予防接種法に基づく予防接種による健康被害と認定された者又はその養育者に対して、その補償として医療費や年金等を支給することで救済措置を行うものであって、法により実施が義務付けられているため、今後も事業を継続していくことが重要である。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>今後も、予防接種法による定期予防接種が追加されていく見込みであり、予防接種健康被害補償事業の必要性は極めて大きいと考える。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

予防接種法の改正により、平成26年10月から水痘及び(成人用)肺炎球菌の2ワクチンが定期予防接種に含まれた。定期予防接種による健康被害の認定を受けた者に対する補償として医療費や年金等を支給することで救済措置を行うものであって、法により実施が義務付けられているため、今後も継続して事業を実施すべきである。

事務事業評価調書

事務事業名	結核検診事業				
担当部名	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和26年度	改正 内容	結核予防法が廃止され、感染症に含まれた											
(2)	直近の改正	平成17年度													
(3)	根拠法令等	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	6	細節	20							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	65歳以上の市民												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	結核の早期発見、予防を行い、市民の健康保持を図る												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	結核の予防及び成人保健の向上													
(7)	事業概要	「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、結核の早期発見、早期予防及び結核の蔓延予防を目的に、市内協力医療機関での個別無料検診として胸部エックス線直接撮影を実施している。 検診料は無料。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	4	項	1	目	4	大事業	1	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		37,601	38,565	37,998	38,553	44,500							
		人件費	職員数	人	0.50	0.40	0.50	0.50	1.50						
			総額(B)	千円	4,150	3,179	4,176	4,176	12,255						
		総事業費(A+B)		41,751	41,744	42,174	42,729	56,755							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		41,751	41,744	42,174	42,729	56,755							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
その他			0	0	0	0	0								
一般財源			41,751	41,744	42,174	42,729	56,755								
財源計(C+D)		41,751	41,744	42,174	42,729	56,755									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	一般社団法人吹田市医師会										
				②											
				③											
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	検診協力医療機関数	目標値	(単位:件)	155.00	153.00	156.00
			実績値	(単位:件)	156.00	156.00	/	
		達成度(%)		100.6	102.0			
	目標値の積算方法	前年度の検診協力医療機関数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	272.69	273.90		
				一般財源(単位:千円)	272.69	273.90		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	受診者数	目標値	(単位:人)	19,000.00	19,200.00	22,500.00
			実績値	(単位:人)	19,492.00	19,651.00	/	
		達成度(%)		102.6	102.3			
	目標値の積算方法	予算積算人数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	2.18	2.17		
				一般財源(単位:千円)	2.18	2.17		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」により実施が義務づけられている検診である。特に高齢者については、かかりつけ医による結核検診が、感染・発病の早期発見のためには重要である。医師会に委託している現在の検診体制は継続していく必要があると考えている。					

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	結核検診事業	事業区分	その他
事務事業番号	00578				

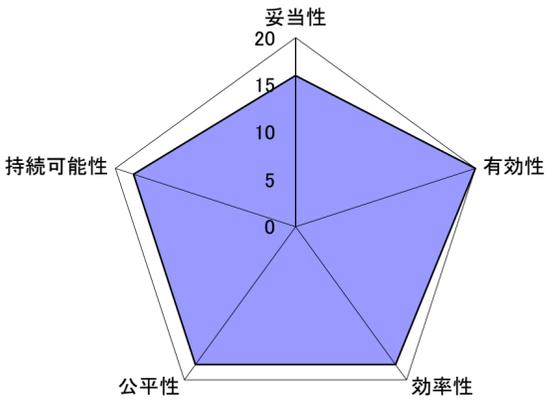
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健センター	事務事業番号	00578
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」により実施が義務付けられている検診であることから、受診率も上昇傾向にあり、市民ニーズが高い検診である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	吹田市立保健センター運営審議会運営事業				
担当部名	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和61年度	改正 内容												
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	執行機関の附属機関に関する条例、吹田市立総合福祉会館及び吹田市立保健センター運営審議会規則													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	6	細節	10							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	市民												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	吹田市立総合福祉会館及び吹田市立保健センターの円滑な運営を行う。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	市民の福祉や健康の増進に寄与する。													
(7)	事業概要	総合福祉会館及び保健センターの円滑な運営について必要な事項を審議する。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	4	項	1	目	14	大事業	3	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		128	86	128	128	128							
		人件費	職員数	人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20						
			総額(B)	千円	1,660	1,590	1,671	1,671	1,634						
		総事業費(A+B)		1,788	1,676	1,799	1,799	1,762							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		1,788	1,675	1,799	1,799	1,762							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			1,788	1,675	1,799	1,799	1,762								
財源計(C+D)		1,788	1,675	1,799	1,799	1,762									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 審議会開催回数	目標値	(単位:回)	1.00	1.00	/
			実績値	(単位:回)	1.00	1.00	
			達成度(%)		100.0	100.0	
	目標値の積算方法 予算上の1開催回数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	1,676.00	1,799.00		
			一般財源(単位:千円)	1,676.00	1,799.00		
	②	指標内容 審議会出席委員数	目標値	(単位:人)	17.00	18.00	
実績値			(単位:人)	12.00	17.00		
達成度(%)			70.6	94.4			
目標値の積算方法 委員数×開催回数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	139.67	105.82			
		一般財源(単位:千円)	139.67	105.82			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容	審議会を開催し、保健センターの円滑な運営について審議する。			達成状況	市民の福祉や健康の増進に寄与する円滑な運営を行っている。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		総合福祉会館及び保健センターの円滑な運営を行い、市民の福祉や健康の増進に寄与するものであり、今後も継続すべき事業である。				

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	吹田市立保健センター運営審議会運営事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00579				

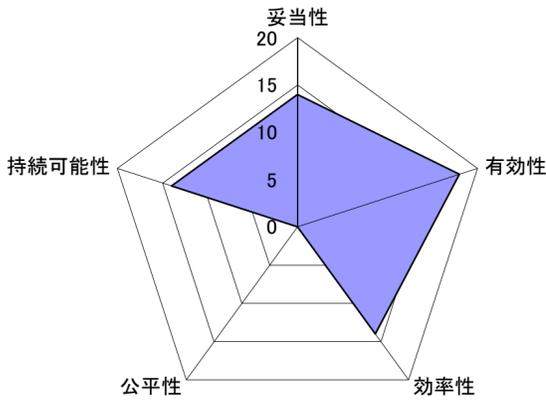
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		②サービスの水準は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	75	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健センター	事務事業番号	00579
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本審議会において運営状況の確認や実施事業の検討を行うことにより、総合福祉会館及び保健センターの円滑な運営及び市民の福祉や健康の増進のために必要な保健事業等の実施につながっている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	南千里分館管理事業				
担当部名	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成24年度	改正 内容												
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等														
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり											
	節	6												
	細節	20												
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> 建設事業 <input type="checkbox"/> その他											
	範囲等	保健センター南千里分館(保健センター南千里分館利用者)												
	目標 (どういう状態にしたいのか)	保健センター南千里分館運営を円滑に行う。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	各検診受診者等が保健センター南千里分館を有効に利用することができ、健康維持・増進を図ることができる。												
(7) 事業概要	千里ニュータウンプラザ内の保健センター南千里分館の円滑な運営に必要な経費の執行を行う。(平成24年9月～)													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	4	項	1	目	14	大事業	4	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		1,962	2,018	2,137	2,022	2,074							
	人件費	職員数	人	0.10	0.20	0.20	0.20							
		総額(B)	千円	830	1,590	1,671	1,671							
	総事業費(A+B)		2,792	3,608	3,808	3,693	3,708							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0							
		府		0	0	0	0							
		その他		0	0	0	0							
	市負担(D)		2,792	3,607	3,808	3,693	3,708							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0							
		その他		0	0	0	0							
一般財源		2,792	3,607	3,808	3,693	3,708								
財源計(C+D)		2,792	3,607	3,808	3,693	3,708								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他		内容												

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容	円滑な運営に必要な経費の執行を行う。			目標	各種検診等を実施するための円滑な運営管理を行う。
	②	成果内容	円滑な運営が図られる。			達成状況	各種検診の受診等により健康維持・増進を図ることができる。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		市民の健康維持・増進を図るために運営に係る経費を適切に執行し、円滑な運営を行っていくことが今後も必要である。				

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	南千里分館管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00580				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	14	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
(4) 公平性 (20点)	0	②サービスの水準は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	77	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	保健センター	事務事業番号	00580
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>保健センター南千里分館の円滑な運営により各種検診受診者等が有効に利用することができ、市民の健康維持・増進が図られている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	千里ニュータウンプラザ施設管理事業				
担当部名	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成24年度	改正 内容												
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	吹田市立保健センター条例													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	6	細節	20							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他									
		範囲等	吹田市立保健センター条例												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	効率的で適正な施設維持管理により各種検診受診者等に快適な施設環境を提供する。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	快適な施設環境により、受診者等の健康維持・増進を図ることができる。													
(7)	事業概要	千里ニュータウンプラザ内の各施設の面積案分により算出された保健センター南千里分館(口腔ケアセンターを含む。)に係る施設管理経費の負担により施設の維持管理を行う。(平成24年9月～)													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	4	項	1	目	14	大事業	4	中事業	1	小事業	2
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		56,866	55,906	57,164	55,719	57,471							
		人件費	職員数	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10						
			総額(B)	千円	830	795	836	836	817						
		総事業費(A+B)		57,696	56,701	58,000	56,555	58,288							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		57,696	56,701	58,000	56,555	58,288							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			57,696	56,701	58,000	56,555	58,288								
財源計(C+D)		57,696	56,701	58,000	56,555	58,288									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	吹田南千里PFI(株)										
				②											
				③											
		主な委託内容		保健センター南千里分館の維持管理業務											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 南千里分館(口腔ケアセンター含む。)面積	目標値	(単位:)	734.20	734.20	734.20
			実績値	(単位:)	734.20	734.20	
			達成度(%)		100.0	100.0	
	目標値の積算方法	千里ニュータウンプラザ内の各施設の面積	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	77.23	77.03	
				一般財源(単位:千円)	77.23	77.03	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	指標内容 適正に管理された日数	目標値	(単位:日)	365.00	366.00	365.00
			実績値	(単位:日)	365.00	366.00	
			達成度(%)		100.0	100.0	
	目標値の積算方法	各年度の日数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	155.35	154.52	
				一般財源(単位:千円)	155.35	154.52	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		市民の健康維持・増進を図るために施設の維持管理に係る経費を適切に執行し、今後も各種検診受診者等に快適な施設環境を提供することが必要である。				

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	千里ニュータウンプラザ施設管理事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	00581				

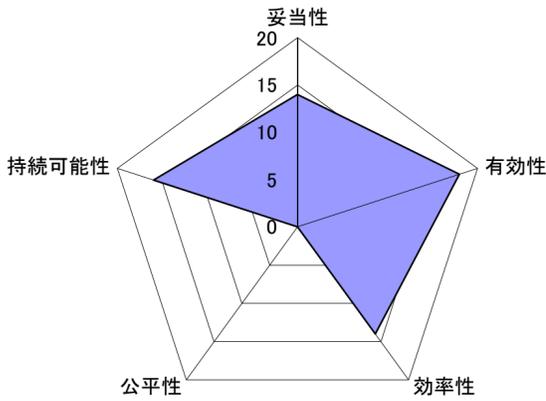
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		②サービスの水準は適正ですか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 ※答えをプルダウンメニューで選択してください。		点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	77	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健センター	事務事業番号	00581
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>各種検診受診者等に快適な施設環境を提供することにより、市民の健康維持・増進が図られている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	がん検診事業				
担当部名	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和39年度	改正 内容	検診一部負担金の改定(胃がん・肺がん・子宮がん・乳がん)											
(2)	直近の改正	平成24年度													
(3)	根拠法令等	健康増進法、がん対策基本法、がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針、各がん検診実施要領													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部		<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)											
		<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)													
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	6	細節	20							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	胃がん検診は満35歳以上、肺がん及び大腸がん検診は満40歳以上、子宮がん検診は満20歳以上、乳がん検診(視触診)は満30~39歳、乳がん検診(視触診・マンモグラフィ併用)は満40歳以上の市民												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	各種がん検診(胃・肺・大腸・子宮・乳)を実施し、疾病の早期発見・早期治療と市民の健康保持・増進を図る。												
		結果 (どのような効果が得られるのか)	疾病の早期発見・早期治療と市民の健康保持・増進を図ることができる。												
(7)	事業概要	<p>胃・肺・大腸がん検診は集団検診方式として、日時を定めて保健センターで実施。 肺・大腸・子宮・乳がん検診は、個別検診方式として市内協力医療機関にて実施。 【肺・大腸がんは集団方式と個別方式の両方で実施】 検診一部負担金は、胃がん検診1,000円、肺がん検診400円(喀痰検査を含む場合は900円)、大腸がん検診300円、子宮がん検診500円(体がん検診含む場合は1,000円)、乳がん検診(視触診)700円、乳がん検診(マンモグラフィ併用)1,000円。ただし、65歳以上、市民税非課税世帯及び生活保護受給世帯は一部負担金を免除。(事前申請が必要)</p>													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	4	項	1	目	15	大事業	1	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		262,959	253,165	264,177	264,177	356,467							
		人件費	職員数	人	3.90	3.00	4.50	4.50	5.00						
			総額(B)	千円	32,370	23,841	37,584	37,584	40,850						
		総事業費(A+B)		295,329	277,006	301,761	301,761	397,317							
		特定財源(C)		2,048	2,289	2,048	2,048	2,894							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		2,048	2,289	2,048	2,048	2,894						
		市負担(D)		293,281	274,717	299,713	299,713	394,423							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			293,281	274,717	299,713	299,713	394,423								
財源計(C+D)		295,329	277,006	301,761	301,761	397,317									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	一般社団法人吹田市医師会										
				②	財団法人大阪府保健医療財団										
				③											
		主な委託内容		各種がん検診業務											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	乳がん・子宮がん検診協力医療機関数	目標値	(単位:医療機関)	56.00	54.00	57.00
			実績値	(単位:医療機関)	56.00	57.00	/	
		達成度(%)		100.0	105.6			
	目標値の積算方法	前年度の乳がん・子宮がん検診協力医療機関数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	5,074.29	5,294.05		
				一般財源(単位:千円)	5,033.41	5,258.12		
	②	指標内容	胃・肺・大腸がん検診年間実施予定日数	目標値	(単位:日)	59.00	60.00	73.00
実績値				(単位:日)	60.00	60.00	/	
達成度(%)			101.7	100.0				
目標値の積算方法		胃・肺・大腸がん検診年間実施日数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	4,736.00	5,029.35		
				一般財源(単位:千円)	4,697.85	4,995.22		
(2) 成果指標	①	指標内容	受診者数 (胃・肺・大腸・子宮・乳がんの合計)	目標値	(単位:人)	64,505.00	66,628.00	87,501.00
			実績値	(単位:人)	62,743.00	66,628.00	/	
		達成度(%)		97.3	100.0			
	目標値の積算方法	予算積算人数 (胃・肺・大腸・子宮・乳がんの合計)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	4.53	4.53		
				一般財源(単位:千円)	4.49	4.50		
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
				実績値	(単位:)	0.00	0.00	/
			達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性 (実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		健康増進法等に基づく各種がん検診(胃・肺・大腸・子宮・乳がん)は、厚生労働省が定める「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」に基づき実施している。平成28年度にはこの指針が改訂され、その中では、胃がん検診の対象年齢変更、胃内視鏡検査の追加、乳がん視触診検診の取り扱い変更などが予定されており、市の検診の内容についても、見直しを検討する可能性が高い。					

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	がん検診事業	事業区分	その他
事務事業番号	00584				

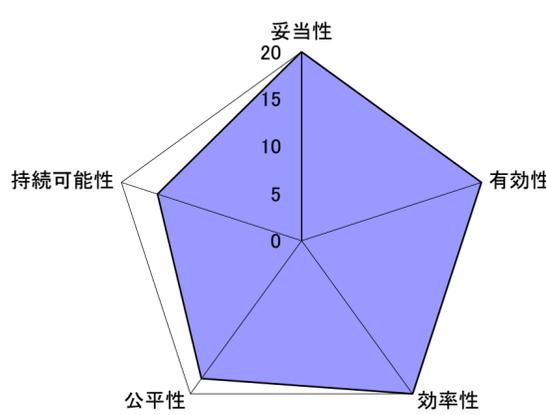
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	94	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	保健センター	事務事業番号	00584
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>健康増進法等に基づく、胃がん・肺がん・大腸がん・子宮がん・乳がん検診は、厚生労働省が定める「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」に基づいて実施していることから市民ニーズの高い検診である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	成人歯科健診事業				
担当部名	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成7年度	改正内容	障がい者の対象に、精神障がい者も含める拡充を行った。											
(2)	直近の改正	平成27年度													
(3)	根拠法令等	健康増進法、吹田市成人歯科健康診査実施要領、吹田市歯と口腔の健康づくり推進条例													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部		<input checked="" type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)		<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)									
		一部にチェックした場合はその説明		感染症予防事業費府補助金あり											
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	6	細節	20							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	満30歳以上の市民(障がい者は満15歳以上)を対象に実施。												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	歯科疾患の早期発見、予防を図り、「8020運動」の達成者を増加させる。												
		結果 (どのような効果が得られるのか)	歯科口腔保健の向上。												
(7)	事業概要	<p>歯科疾患の早期発見・予防を目的に、歯科健康診査及び歯面清掃を行う。 個別検診方式として、市内の協力医療機関にて実施。 健診一部負担金は無料。</p>													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	4	項	1	目	15	大事業	1	中事業	2	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		129,955	127,683	130,199	130,199	132,527							
		人件費	職員数	人	1.20	0.80	1.00	1.00	1.00						
			総額(B)	千円	9,960	6,358	8,352	8,352	8,170						
		総事業費(A+B)		139,915	134,041	138,551	138,551	140,697							
		特定財源(C)		3,957	6,298	3,824	3,824	17,564							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		3,957	6,298	3,824	3,824	4,517						
			その他		0	0	0	0	13,047						
		市負担(D)		135,958	127,743	134,727	134,727	123,133							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
			一般財源		135,958	127,743	134,727	134,727	123,133						
財源計(C+D)		139,915	134,041	138,551	138,551	140,697									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	一般社団法人 吹田市歯科医師会										
				②											
				③											
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
				②											
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 成人歯科健康診査の受診者数	目標値	(単位:人)	24,070.00	24,080.00	23,800.00
			実績値	(単位:人)	23,639.00	22,674.00	
		達成度(%)				98.2	
	目標値の積算方法 過去の受診者数をもとにした予算積算人数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		5.80	6.11	
			一般財源(単位:千円)		5.54	5.94	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)					0.0	0.0	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容 受診者のうち、残存歯が20本以上有する者の割合	目標値	(単位:人)	23,639.00	22,674.00
	実績値			(単位:人)	20,753.00	20,027.00	
	達成度(%)				87.8	88.3	
	目標値の積算方法 成人歯科健康診査の受診者数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		6.61	6.92	
			一般財源(単位:千円)		6.31	6.73	
	(4) 総合評価	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	
達成度(%)					0.0	0.0	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
①		活動内容				目標	
	成果内容				達成状況		
今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
評価の説明		市民の歯科疾患の早期予防・早期発見をすることにより、健康保持・増進に繋げるためには、幅広い年齢層が受診できる制度である本事業が重要である。また、歯と口腔の健康づくり推進条例の基本的施策の中に、成人期(妊産婦である期間も含む)における歯周病及び歯の喪失の予防のために必要な施策とあり、まさしく本事業がその施策にあたるので、継続して実施していく必要がある。					

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	成人歯科健診事業	事業区分	その他
事務事業番号	00586				

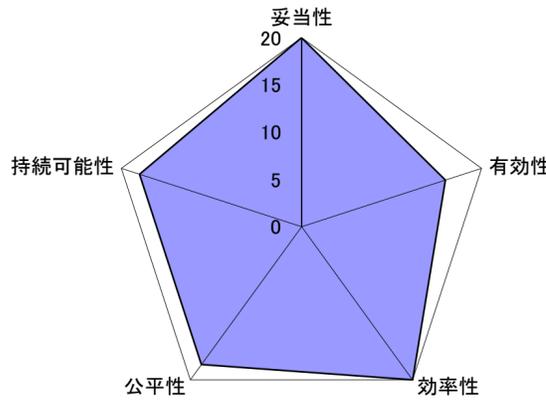
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	保健センター	事務事業番号	00586
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>豊かな食生活を送るためには、歯の健康は欠かせないものであり、歯科疾患の予防や早期発見が非常に重要である。受診者は横ばい状態であるが、歯の健康を意識されている方がたくさんいることが把握できる。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成26年度から、後期高齢者を対象とした歯科健診事業が国で予算化され、大阪府後期高齢者医療広域連合では平成27年度から試行的に、市町村の歯科健診事業に補助を行っている。本市においても平成28年度からこの補助金を受け、従来の歯科健診に口腔機能等の検査を追加した高齢者のための歯科健診を拡充して実施し、歯科保健の充実を図る。

事務事業評価調書

事務事業名	在宅寝たきり高齢者等訪問歯科事業				
担当部名	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成6年度	改正 内容	事務の負担軽減及び歯科医師の出務に係る報償費や交通費の削減を図るため、歯科健診業務を歯科医師会に委託。											
(2) 直近の改正	平成19年度													
(3) 根拠法令等	吹田市寝たきり高齢者等訪問歯科事業実施要領、吹田市歯と口腔の健康づくり推進条例													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	6	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	概ね65歳以上の在宅寝たきり高齢者等。											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	在宅寝たきり高齢者等に対し、歯科医師の訪問による歯科健診を実施し、歯科疾患の早期発見と予防及び生活の質の向上を図る。												
(7) 事業概要	概ね65歳以上の在宅寝たきり高齢者等に、歯科医師の訪問による歯科健診を実施。健診一部負担金は無料。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	4	項	1	目	15	大事業	1	中事業	3	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		9,008	9,014	8,762	8,586	9,002							
	人件費	職員数	人	0.90	0.20	0.20	0.20							
		総額(B)	千円	7,470	1,590	1,671	1,671							
	総事業費(A+B)		16,478	10,604	10,433	10,257	10,636							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0							
		府		0	0	0	0							
		その他		0	0	0	0							
	市負担(D)		16,478	10,603	10,433	10,257	10,636							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0							
		その他		0	0	0	0							
一般財源		16,478	10,603	10,433	10,257	10,636								
財源計(C+D)		16,478	10,603	10,433	10,257	10,636								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	一般社団法人 吹田市歯科医師会										
			②											
			③											
	主な委託内容		寝たきり高齢者等訪問歯科健診業務											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他		内容												

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	健康診査受診者数	指標内容	目標値	(単位:)	230.00	220.00	230.00
			実績値	(単位:)	232.00	213.00		
			達成度(%)		100.9	96.8		
	目標値の積算方法	予算積算人数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	69.69	48.15		
				一般財源(単位:千円)	69.69	48.15		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	健康診査結果異常なし判定者数	指標内容	目標値	(単位:)	23.00	5.00	5.00
			実績値	(単位:)	3.00	4.00		
			達成度(%)		13.0	80.0		
	目標値の積算方法	健康診査受診者数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	5,389.00	2,564.25		
				一般財源(単位:千円)	5,389.00	2,564.25		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		吹田市医療審議会の答申を受けて、平成6年度からスタートし、これまでに2度の見直しを行ってきたが、単位当たりのコストが高いため、見直し事業として挙げられていた。しかし、歯と口腔の健康づくり推進条例の基本的施策の中に、障がい者、介護を必要とする高齢者その他の者であって、定期的に歯科健診を受けること、または歯科医療を受けることが困難な者に対する支援のために、必要な施策とある。まさしく、本事業がその施策にあたるため、継続して実施していく必要がある。一方で近年、対象者の要件があいまいになっている傾向があり、制度の運用方法の見直しを検討している。					

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	在宅寝たきり高齢者等訪問歯科事業	事業区分	その他
事務事業番号	00587				

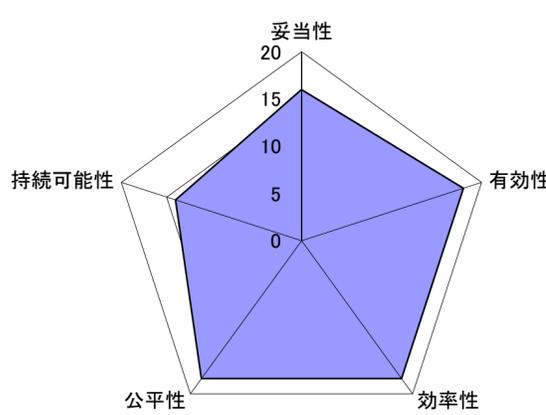
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	84	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健センター	事務事業番号	00587
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>寝たきり高齢者等、通院できない市民の歯科保健の向上のために、有効な事業であるが、単位当たりのコストが高くなっている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	骨粗しょう症検診事業				
担当部名	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成6年度	改正 内容	平成27年1月から対象年齢を満20歳以上70歳以下の5歳節目に対象年齢を変更。											
(2)	直近の改正	平成26年度													
(3)	根拠法令等	健康増進法、吹田市骨粗しょう症検診事業実施要領													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input checked="" type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明		感染症予防事業費府補助金あり											
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	6	細節	20							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	満20歳以上70歳以下5歳節目の市民											
		結果 (どのような効果が得られるのか)	骨折を予防し、寝たきりの予防と健康保持を図る。												
(7)	事業概要	満20歳以上70歳以下の5歳節目の市民を対象に、市内協力医療機関で検診を実施し、疾病の早期発見と市民の健康保持を図っている。検診一部負担金1,000円。ただし、65歳以上、市民税非課税世帯及び生活保護受給世帯は一部負担金を免除。(事前申請は必要)													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	4	項	1	目	15	大事業	1	中事業	4	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		20,199	16,498	16,279	16,279	17,418							
		人件費	職員数	人	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30						
			総額(B)	千円	2,490	2,385	2,506	2,506	2,451						
		総事業費(A+B)		22,689	18,883	18,785	18,785	19,869							
		特定財源(C)		4,979	5,502	4,261	4,261	4,630							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	4,979	5,502	4,261	4,261	4,630							
			その他	0	0	0	0	0							
		市負担(D)		17,710	13,380	14,524	14,524	15,239							
(内訳)	地方債	0	0	0	0	0									
	その他	0	0	0	0	0									
	一般財源	17,710	13,380	14,524	14,524	15,239									
財源計(C+D)		22,689	18,882	18,785	18,785	19,869									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	一般社団法人吹田市医師会										
				②											
				③											
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	検診協力医療機関数	目標値	(単位:件)	116.00	112.00	116.00
			実績値	(単位:件)	115.00	116.00	/	
		達成度(%)		99.1	103.6			
	目標値の積算方法	前年度の検診協力医療機関数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	164.21	161.94		
				一般財源(単位:千円)	116.37	125.21		
	(2) 成果指標	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合		①	指標内容	受診者数	目標値	(単位:件)	4,242.00	3,465.00
	実績値			(単位:件)	3,456.00	3,465.00	/	
	達成度(%)		81.5	100.0				
	目標値の積算方法	予算積算人数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	5.46	5.42		
				一般財源(単位:千円)	3.87	4.19		
	(4) 総合評価	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00			
①	活動内容					目標		
	成果内容					達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		寝たきりの原因である骨折を予防するためには、骨粗しょう症の早期発見・早期治療が重要であるが、より効果的な検診とするために平成27年1月から対象者の年齢の見直しを行い、上限を70歳までとした。そのため、平成26年度はやや受診者数が減少しているが、今後は、特に若年から中高年層への予防対策に力を入れていく必要がある。					

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	骨粗しょう症検診事業	事業区分	その他
事務事業番号	00588				

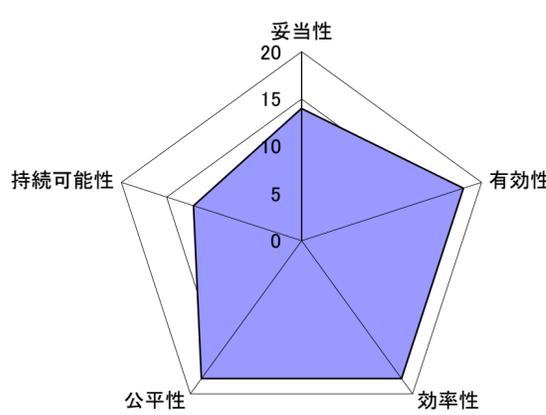
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	12	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健センター	事務事業番号	00588
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>寝たきりの原因にもなる骨折を予防するためには、骨粗しょう症の早期発見・早期治療が重要であるが、より効果的な検診とするために平成27年1月から対象者の年齢の見直しを行い、上限を70歳までとした。そのため、平成26年度以降受診者が減少しているが、今後は、特に若年から中高年層への予防対策に力を入れていく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	30歳代健康診査事業				
担当部名	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成20年度	改正内容	満40歳以上75歳未満の国民健康保険途中加入者について、特定健康診査(国民健康診査)対象となったため、30歳代健康診査の対象から移行											
(2)	直近の改正	平成22年度													
(3)	根拠法令等	健康増進法、吹田市30歳代健康診査実施要領													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input checked="" type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明		感染症予防事業費府補助金あり											
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	6	細節	20							
(6)	目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	①満30歳以上39歳以下の市民 ②40歳以上の生活保護受給世帯の市民												
		目標(どういう状態にしたいのか)	疾病の早期発見、生活習慣病の予防を行い、市民の健康保持を図る。												
	結果(どのような効果が得られるのか)	成人保健の向上													
(7)	事業概要	30歳健康診査を実施し、疾病の早期発見、生活習慣病の予防を行い、市民の健康保持を図る。個別検診方式として、市内の協力医療機関実施。検診一部負担金は無料。													
(8)	H27事業別予算コード	会計	1	款	4	項	1	目	15	大事業	1	中事業	5	小事業	1
(9)	事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		49,992	39,578	42,156	42,156	52,162							
		人件費	職員数	人	1.60	0.50	0.50	0.50	0.30						
			総額(B)	千円	13,280	3,974	4,176	4,176	2,451						
		総事業費(A+B)		63,272	43,552	46,332	46,332	54,613							
		特定財源(C)		1,094	944	1,115	1,115	2,613							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	1,094	944	1,115	1,115	2,613							
			その他	0	0	0	0	0							
		市負担(D)		62,178	42,608	45,217	45,217	52,000							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
一般財源	62,178		42,608	45,217	45,217	52,000									
財源計(C+D)		63,272	43,552	46,332	46,332	54,613									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	一般社団法人吹田市医師会										
				②											
				③											
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	検診協力医療機関数	目標値	(単位:)	174.00	171.00	175.00
			実績値	(単位:)	174.00	175.00	/	
		達成度(%)			100.0	102.3		
	目標値の積算方法	前年度の検診協力医療機関数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		300.54		264.75
				一般財源(単位:千円)		295.11	258.38	
	(2) 成果指標	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容	受診者数	目標値	(単位:)	4,750.00	4,010.00
	実績値			(単位:)	3,801.00	4,010.00	/	
	達成度(%)			80.0	100.0			
	目標値の積算方法	予算積算人数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		13.76		11.55
				一般財源(単位:千円)		13.51	11.28	
	(4) 総合評価	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
①	活動内容					目標		
	成果内容					達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		30歳代を対象とした健診は、法律等には基づいていないが、若年層の健診受診の機会となり、生活習慣病等の疾病の早期発見、早期治療、また健康の保持増進を図っていることから、継続して実施することが必要と考えている。しかし、受診者数は年々減少しており、平成28年度から引き続き、対象者すべてにはがきによる受診勧奨を行い、受診者数の増加に取り組む。					

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	30歳代健康診査事業	事業区分	その他
事務事業番号	00589				

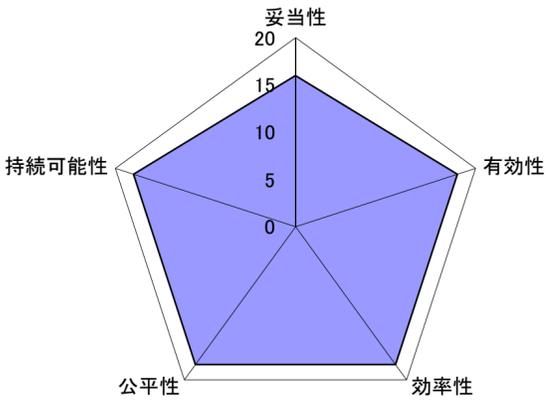
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健センター	事務事業番号	00589
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>30～39歳の市民を対象としていることで、若年層の健診受診の機会になっており、市民の疾病の早期発見及び早期治療、健康の保持増進を図ることができている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	聴力検診事業				
担当部名	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成16年度	改正 内容	平成25年1月から、一部負担金として市民から500円を徴収。											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	吹田市聴力検診実施要領													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	6	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	50歳以上70歳以下の5歳節目の市民											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	成人保健の向上												
(7) 事業概要	個別検診方式として、市内の協力医療機関で検診を実施し、疾病や障がいの早期発見を行い、早期治療につなげることで市民の健康保持を図っている。 検診一部負担金500円。ただし、65歳以上、市民税非課税世帯及び生活保護受給世帯は一部負担金を免除。(事前申請は必要)													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	4	項	1	目	15	大事業	1	中事業	6	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		848	683	712	712	630							
	人件費	職員数	人	0.30	0.25	0.30	0.30	0.10						
		総額(B)	千円	2,490	1,987	2,506	2,506	817						
	総事業費(A+B)		3,338	2,670	3,218	3,218	1,447							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		3,338	2,670	3,218	3,218	1,447							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		3,338	2,670	3,218	3,218	1,447								
財源計(C+D)		3,338	2,670	3,218	3,218	1,447								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	一般社団法人吹田市医師会										
			②											
			③											
	主な委託内容		検診業務											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 検診協力医療機関数	目標値	(単位:件)	22.00	22.00	23.00	
			実績値	(単位:件)	23.00	23.00		
			達成度(%)		104.5	104.5		
	目標値の積算方法	前年度の検診協力医療機関数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		133.39	139.91	
				一般財源(単位:千円)		133.39	139.91	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法		予算積算人数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容 受診者数	目標値	(単位:件)	430.00	370.00	326.00
	実績値			(単位:件)	362.00	370.00		
	達成度(%)			84.2	100.0			
	目標値の積算方法	予算積算人数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		8.48	8.70	
				一般財源(単位:千円)		8.48	8.70	
	(4) 総合評価	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
①		活動内容					目標	
	成果内容					達成状況		
今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明		中高年層の難聴等の早期発見の機会となっているが、根拠となる法令や通知等がなく、他市でもほとんど実施していない事業であるため、今後、吹田市医師会と調整を図りながら見直していく必要がある。						

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	聴力検診事業	事業区分	その他
事務事業番号	00590				

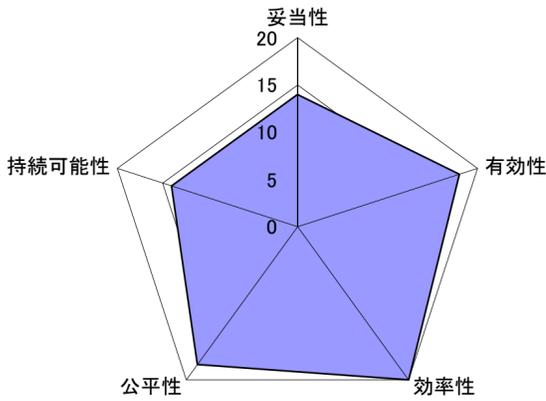
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	84	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健センター	事務事業番号	00590
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>根拠となる法令、通知等がなく、今後見直していく必要があると考えている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	B型・C型肝炎ウイルス検診事業				
担当部名	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成14年度	改正内容	平成25年1月から、一部負担金として市民から500円を徴収											
(2) 直近の改正	平成24年度													
(3) 根拠法令等	健康増進法、吹田市C型・B型肝炎ウイルス検診実施要領													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input checked="" type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明		感染症予防事業費府補助金あり											
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	6	細節	20							
(6) 目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	範囲等	満40歳の市民及び41歳以上で当該検診を未受診の市民												
	目標(どういう状態にしたいのか)	疾病の早期発見を行い、早期治療に繋げることで、市民の健康保持を図る。												
	結果(どのような効果が得られるのか)	成人保健の向上												
(7) 事業概要	個別検診方式として、市内の協力医療機関で実施し、疾病の早期発見、早期治療により市民の健康の保持を図る。検診一部負担金500円。ただし、65歳以上、市民税非課税世帯及び生活保護受給世帯は一部負担金を免除。(事前申請は必要)													
(8) H27事業別予算コード	会計	1	款	4	項	1	目	15	大事業	1	中事業	7	小事業	1
(9) 事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		4,445	5,042	5,301	5,301	5,763							
	人件費	職員数	人	0.40	0.25	0.30	0.30	0.30						
		総額(B)	千円	3,320	1,987	2,506	2,506	2,451						
	総事業費(A+B)		7,765	7,029	7,807	7,807	8,214							
	特定財源(C)		2,829	2,006	4,809	4,809	3,729							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	2,829	2,006	4,809	4,809	3,729							
		その他	0	0	0	0	0							
	市負担(D)		4,936	5,023	2,998	2,998	4,485							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
		一般財源	4,936	5,023	2,998	2,998	4,485							
財源計(C+D)		7,765	7,029	7,807	7,807	8,214								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	一般社団法人吹田市医師会										
			②											
			③											
	主な委託内容		検診業務											
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他		内容												

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	検診協力医療機関数	目標値	(単位:件)	174.00	171.00	175.00
			実績値	(単位:件)	174.00	175.00	/	
		達成度(%)		100.0	102.3			
	目標値の積算方法	前年度の検診協力医療機関数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	47.25	44.61		
				一般財源(単位:千円)	35.72	17.13		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	受診者数	目標値	(単位:件)	2,100.00	2,500.00	2,765.00
			実績値	(単位:件)	2,374.00	2,500.00	/	
		達成度(%)		113.0	100.0			
	目標値の積算方法	予算積算人数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	3.46	3.12		
				一般財源(単位:千円)	2.62	1.20		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		<p>市民が自身の肝炎ウイルス感染の状況を認識し、必要に応じて受診し、保健指導を受けることによって肝炎による健康障害を防ぐためには必要な検診である。</p> <p>また国でも肝炎ウイルス検査の促進を進めており、本市でも受診率の向上に努めるための取組みが必要と考えている。</p> <p>※平成25年4月から、国の肝炎ウイルス検診実施要領の一部改正により、C型肝炎ウイルス検査の検査方法が一部変更となった。国は、肝炎対策において、肝炎ウイルスに感染しているものの自覚のない人が多数存在すると推定しており、全ての国民が少なくとも1回は肝炎ウイルス検査をすることが必要であるとして、肝炎ウイルス検査の更なる促進を進めている。</p>					

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	B型・C型肝炎ウイルス検診事業	事業区分	その他
事務事業番号	00591				

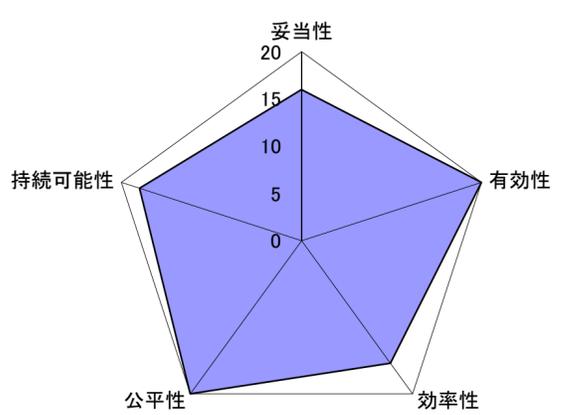
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健センター	事務事業番号	00591
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>市民が自身の肝炎ウイルス感染の状況を認識し、必要があれば保健指導を受けることができ、肝炎による健康障害を防ぐために効果的な検診である。受診率においても年々上昇傾向にあり、市民ニーズのある検診と言える。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	ペプシノゲン胃検診事業				
担当部名	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成12年度	改正内容	「胃がん検診(ペプシノゲン)」から「ペプシノゲン胃検診」に名称を変更											
(2)	直近の改正	平成20年度													
(3)	根拠法令等	吹田市ペプシノゲン胃検診実施要領													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部		<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)		<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)									
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	6	細節	20							
(6)	目的	対象(誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	40歳以上65歳以下の5歳節目の市民												
		目標(どういう状態にしたいのか)	胃がんのハイリスク者を発見し、胃がんの早期発見、早期治療を行い、健康保持を図る。												
		結果(どのような効果が得られるのか)	成人保健の向上												
(7)	事業概要	個別検診方式として市内の協力医療機関で実施し、胃がんのハイリスク者を発見し、胃がんの早期発見、早期治療を行い、健康保持を図る。検診一部負担金300円。ただし、65歳以上、市民税非課税世帯及び生活保護受給世帯は一部負担金を免除。(事前申請は必要)													
(8)	H27事業別予算コード	会計	1	款	4	項	1	目	15	大事業	1	中事業	8	小事業	1
(9)	事業費と財源の内訳	項目		平成26年度(2014年度)		平成27年度(2015年度)		平成28年度(2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		2,981	2,451	2,979	2,979	2,914							
		人件費	職員数	人	0.40	0.25	0.30	0.30	0.30						
			総額(B)	千円	3,320	1,987	2,506	2,506	2,451						
		総事業費(A+B)		6,301	4,438	5,485	5,485	5,365							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		6,301	4,438	5,485	5,485	5,365							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
その他			0	0	0	0	0								
一般財源			6,301	4,438	5,485	5,485	5,365								
財源計(C+D)		6,301	4,438	5,485	5,485	5,365									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	一般社団法人吹田市医師会										
				②											
				③											
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	市内の協力医療機関数	目標値	(単位:件)	174.00	171.00	175.00
			実績値	(単位:件)	174.00	175.00	/	
		達成度(%)		100.0	102.3			
	目標値の積算方法	前年度の市内の協力医療機関数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	32.36	31.34		
				一般財源(単位:千円)	32.36	31.34		
	(2) 成果指標	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合		①	指標内容	受診者数	目標値	(単位:人)	2,650.00	2,650.00
	実績値			(単位:人)	2,153.00	2,650.00	/	
	達成度(%)		81.2	100.0				
	目標値の積算方法	予算積算人数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	2.61	2.07		
				一般財源(単位:千円)	2.61	2.07		
	(4) 総合評価	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00			
①	活動内容					目標		
	成果内容					達成状況		
今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明		ペプシノゲン胃検診は、胃がん死亡率減少効果は認められていないものの、毎年、がん患者が発見されている実態があり、胃がんの早期発見の機会としては必要な検診と考えている。						

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	ペプシノゲン胃検診事業	事業区分	その他
事務事業番号	00592				

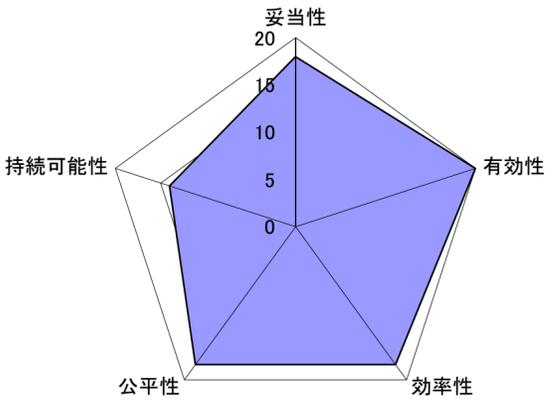
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。				
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点		
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点		
④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。				
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。		
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点		
④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。				
a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点		
④公平性を確保するための取組みをしていますか。				
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点		
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点		
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。				
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点		
評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健センター	事務事業番号	00592
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>ペプシノゲン胃検診は、胃がん死亡率の減少効果が認められる検診ではないが、本市においても、毎年がん患者が発見されている実態があり、また、血液検査であることから、バリウム検査で実施している集団健診より個別で当検査を選択される受診者も年々上昇傾向にある。胃がんの早期発見の機会としては必要な検診と考えている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	吹田市健康長寿健診事業				
担当部名	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成21年度	改正 内容												
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等														
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	6	細節	20							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	市民のうち、75歳以上の後期高齢者医療健康診査の受診者												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	疾病の早期発見と健康の保持を図る。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	成人保健の向上													
(7)	事業概要	市民のうち、満75歳以上の後期高齢者医療健康診査の受診者を対象に、健康長寿健診として個別検診方式で、市内の協力医療機関で実施している。 検査は、貧血検査(赤血球・ヘモグロビン・白血球・血小板・ヘマトクリット)、生化学検査(総コレステロール・クレアチニン・尿酸)、心電図検査である。 健診一部負担金は無料。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	4	項	1	目	15	大事業	1	中事業	9	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		22,795	25,091	27,456	27,456	33,757							
		人件費	職員数	人	0.20	0.30	0.30	0.30	0.50						
			総額(B)	千円	1,660	2,385	2,506	2,506	4,085						
		総事業費(A+B)		24,455	27,476	29,962	29,962	37,842							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		24,455	27,475	29,962	29,962	37,842							
(内訳)	地方債		0	0	0	0	0								
	その他		0	0	0	0	0								
	一般財源		24,455	27,475	29,962	29,962	37,842								
財源計(C+D)		24,455	27,475	29,962	29,962	37,842									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	一般社団法人 吹田市医師会										
				②											
				③											
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	検診協力医療機関数	目標値	(単位:件)	174.00	171.00	175.00
			実績値	(単位:件)	174.00	175.00	/	
		達成度(%)		100.0	102.3			
	目標値の積算方法	前年度の検診協力医療機関数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	153.34	171.21		
				一般財源(単位:千円)	153.34	171.21		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	受診者数	目標値	(単位:人)	12,800.00	12,800.00	15,000.00
			実績値	(単位:人)	14,828.00	12,800.00	/	
		達成度(%)		115.8	100.0			
	目標値の積算方法	予算積算人数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	1.80	2.34		
				一般財源(単位:千円)	1.80	2.34		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		後期高齢者健診に含まれていない検査項目を追加し、検査を実施することは、高齢者の健康保持や増進には必要なことである。高齢者の疾病予防や、早期発見の機会になっていることから市民ニーズも高く、今後も継続して行く必要があると考えている。					

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	吹田市健康長寿健診事業	事業区分	その他
事務事業番号	00593				

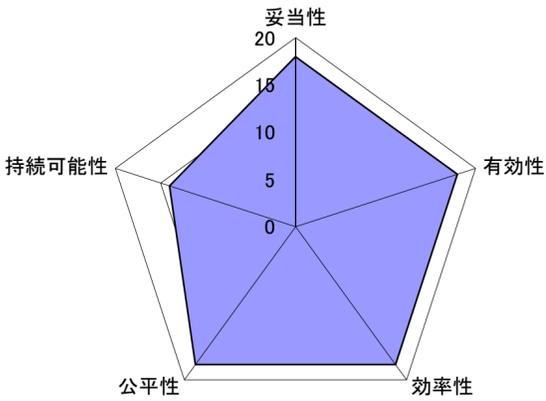
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健センター	事務事業番号	00593
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>後期高齢者健診には含まれていない心電図や総コレステロール値、貧血などの検査を追加し、健診することは、高齢者の健康の保持増進のため非常に重要であると考えている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	前立腺がん検診事業				
担当部名	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成22年度	改正 内容	平成25年1月から、一部負担金として700円を徴収											
(2)	直近の改正	平成24年度													
(3)	根拠法令等	吹田市前立腺がん検診実施要領													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部		<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)											
		<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)													
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	6	細節	20							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	満50歳以上の男性市民												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	前立腺がん検診を実施し、疾病の早期発見と市民の健康保持を図る。												
		結果 (どのような効果が得られるのか)	成人保健の向上												
(7)	事業概要	前立腺がん検診を実施し、疾病の早期発見と市民の健康保持を図る。 満50歳以上の男性市民を対象に、個別検診方式として市内の協力医療機関で実施。 検診一部負担金は700円。ただし、65歳以上、市民税非課税世帯及び生活保護受給世帯は一部負担金を免除。(事前申請が必要)													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	4	項	1	目	15	大事業	1	中事業	10	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		24,704	25,121	26,225	26,225	27,016							
		人件費	職員数	人	0.20	0.25	0.30	0.30	0.40						
			総額(B)	千円	1,660	1,987	2,506	2,506	3,268						
		総事業費(A+B)		26,364	27,108	28,731	28,731	30,284							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
		市負担(D)		26,364	27,108	28,731	28,731	30,284							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
その他	0		0	0	0	0									
一般財源	26,364		27,108	28,731	28,731	30,284									
財源計(C+D)		26,364	27,108	28,731	28,731	30,284									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	一般社団法人吹田市医師会										
				②	財団法人大阪府保健医療財団										
				③											
		主な委託内容		各種がん検診業務											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他		内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	検診協力医療機関数	目標値	(単位:件)	174.00	171.00	175.00
			実績値	(単位:件)	174.00	175.00	/	
		達成度(%)		100.0	102.3			
	目標値の積算方法	前年度の検診協力医療機関数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	153.52	164.18		
				一般財源(単位:千円)	153.52	164.18		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		予算積算人数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合		①	指標内容	受診者数	目標値	(単位:人)	8,500.00	9,000.00
	実績値			(単位:人)	8,600.00	9,000.00	/	
	達成度(%)		101.2	100.0				
	目標値の積算方法	予算積算人数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	3.11	3.19		
				一般財源(単位:千円)	3.11	3.19		
	(4) 総合評価	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
①		活動内容					目標	
	成果内容					達成状況		
今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明		国のがん検診指針には含まれていない検診ではあるが、全国9割以上の市町村や、北摂各市でも実施されていることから、市民ニーズの高い検診である。検診の受診率等の向上のため、様々な検討を行いながら継続して実施していく考えである。						

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	前立腺がん検診事業	事業区分	その他
事務事業番号	00594				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健センター	事務事業番号	00594
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>国のがん検診指針には含まれない検診であるが、全国的にも9割以上の市町村で実施され、北摂各市でも実施されている。また、受診率も上昇傾向にあり、市民の関心も高いことから、市民のニーズに合った検診であると考えている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	健康教育・相談事業				
担当部名	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	昭和54年度	改正 内容	根拠法令が老人保健法から健康増進法に変更											
(2)	直近の改正	平成20年度													
(3)	根拠法令等	健康増進法													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input checked="" type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明		感染症予防事業費府補助金あり											
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	6	細節	20							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	65歳未満の市民												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	健康についての自覚を高めるために、健康に関する知識の普及啓発に努める。また、心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導及び助言を行う。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	成人保健の向上													
(7)	事業概要	自らの健康を守り、疾病の予防を目指すことを目的に生活習慣病予防、その他健康に関する事項について、健康教育・健康相談を実施し、適切な指導・助言を行う。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	4	項	1	目	15	大事業	2	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		1,272	1,533	1,064	1,064	1,166							
		人件費	職員数	人	1.00	0.80	1.00	1.00	1.00						
			総額(B)	千円	8,300	6,358	8,352	8,352	8,170						
		総事業費(A+B)		9,572	7,891	9,416	9,416	9,336							
		特定財源(C)		820	546	542	542	576							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	820	546	542	542	576							
			その他	0	0	0	0	0							
		市負担(D)		8,752	7,345	8,874	8,874	8,760							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
一般財源	8,752		7,345	8,874	8,874	8,760									
財源計(C+D)		9,572	7,891	9,416	9,416	9,336									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容	自らの健康を守り、疾病の予防を目指すことを目的に生活習慣病予防、その他健康に関する事項について、健康教育・健康相談を実施し、適切な指導・助言を行う。(各種健康教室・健康相談の実施)			目標	健康についての自覚を高めるために、健康に関する知識の普及啓発に努め、心身の健康に関することに必要な指導及び助言を行う。
	②	成果内容	①健康教室延べ参加者数 ②健康相談延べ件数			達成状況	① 5733人 ② 2274人
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		生活習慣病の予防その他健康に関する事項について、正しい知識の普及を図り、「自らの健康は自ら守る」という認識と自覚を高めるために、また、心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な助言・指導を行い、健康管理に生かすために、今後とも健康教育、健康相談の継続は必要であると考えます。				

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	健康教育・相談事業	事業区分	その他
事務事業番号	00595				

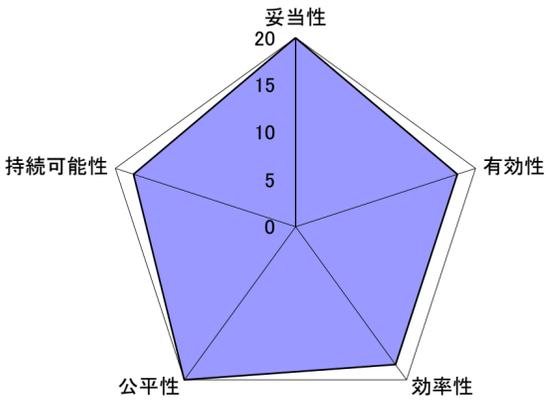
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	94	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健センター	事務事業番号	00595
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>がんを含む生活習慣病予防、こころの健康、禁煙などをテーマに、保健師・栄養士・歯科衛生士により健康教育・健康相談を行い、健康的な生活習慣への関心を深められるよう、働きかけている。 PTAや地域等からの要請にも応じ、家庭教育学級や公民館等での出前講座にも出かけている。 地域に根ざした保健活動として市民からのニーズも高く、必要とされているため、今後も継続していくべき事業である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	「健康すいた21」推進事業				
担当部名	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成18年度	改正内容	国及び府の基本指針等の改定											
(2) 直近の改正	平成25年度													
(3) 根拠法令等	健康増進法、健康日本21、大阪府健康増進計画、吹田市民のくらしと健康を支える福祉基本条例 等													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	6	細節	10							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	市民											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	自らが目標を定め、一人ひとりが自分の健康づくりに取り組めるようになる。 生活習慣の改善等により、健やかで心豊かな生活が送れるようになる。												
(7) 事業概要	平成17年度に策定し、平成22年度に中間見直しを行った「健康すいた21」に基づき、栄養・食生活の改善、たばこ対策の推進、運動・身体活動の習慣化など8つの重点項目を中心に、健康づくりの取組を広く市民に普及・啓発し、市民の健康の保持・増進に役立てる。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	4	項	1	目	15	大事業	3	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		1,778	2,162	4,217	2,015	242							
	人件費	職員数	人	0.50	0.20	0.20	0.20	0.20						
		総額(B)	千円	4,150	1,590	1,671	1,671	1,634						
	総事業費(A+B)		5,928	3,752	5,888	3,686	1,876							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		5,928	3,751	5,888	3,686	1,876							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
一般財源		5,928	3,751	5,888	3,686	1,876								
財源計(C+D)		5,928	3,751	5,888	3,686	1,876								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	禁煙相談者数	目標値 (単位:人)	182.00	202.00	328.00
				実績値 (単位:人)	202.00	328.00	/
				達成度(%)	111.0	162.4	
	目標値の積算方法	「健康すいた21」で設定する目標値が「増加」となっていることから、前年度を上回る数値を目標値とする。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	18.57	11.24	
				一般財源(単位:千円)	18.57	11.24	
	②	指標内容		目標値 (単位:)	0.00	0.00	0.00
			実績値 (単位:)	0.00	0.00	/	
			達成度(%)	0.0	0.0		
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00		0.00
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標	①	指標内容	男性の喫煙率(平成32年度までに19.3%以下)30歳代健診と国保健診受診者の喫煙率、システム上禁煙率を設定	目標値 (単位:%)	75.00	75.00	80.70
				実績値 (単位:%)	76.90	77.30	/
				達成度(%)	102.5	103.1	
	目標値の積算方法	「健康すいた21(第2次)」で設定する目標値は、喫煙率19.3%以下。つまり、禁煙率80.7%以上を目標値とする。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	48.79	47.68	
				一般財源(単位:千円)	48.79	47.68	
	②	指標内容	女性の喫煙率(平成32年度までに5%以下)30歳代健診と国保健診受診者の喫煙率、システム上禁煙率を設定	目標値 (単位:%)	95.00	95.00	95.00
				実績値 (単位:%)	93.70	94.10	/
				達成度(%)	98.6	99.1	
目標値の積算方法		「健康すいた21(第2次)」で設定する目標値は、喫煙率5%以下。つまり、禁煙率95%以上を目標値とする。	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	40.04	39.17	
	一般財源(単位:千円)			40.04	39.17		
(3) が困難な場合	①	活動内容		目標			
	②	成果内容		達成状況			
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		本市では、平成28年度から5年間を計画期間とする「健康すいた21(第2次)」を平成28年3月に策定。本計画は健康づくりに関する施策を実施するうえで基本的な方向性を示す計画であり、市民一人ひとりが健康で安心して暮らせるために実施している各種健康づくり事業については、今後も計画的かつ効果的な実施が必要となることから、定期的な進捗状況の管理と市民等への周知等、今後も継続すべき事業である。				

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	「健康すいた21」推進事業	事業区分	その他
事務事業番号	00596				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健センター	事務事業番号	00596
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

「健康すいた21」全体の達成度を定量的に評価する指標の設定が困難なことから、他の事業では成果指標として使用していない個別の指標を設定し、その進捗をもって計画全体の評価を行っている。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>計画の認知度が低いため、普及のためのさらなる周知が必要である。また、今後は身近な地域で市民が自ら健康づくりに取り組むための支援や、仲間づくりの支援など、地域に密着した健康づくりを進める必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成28年度から5年間の計画期間とする「健康すいた21(第2次)」を平成28年3月に策定した。本計画では、吹田市健康増進計画、吹田市食育推進計画、吹田市歯と口腔の健康づくり推進計画の3計画を一体的に策定しており、今後、健康づくりに係る施策のほか、食育や歯と口腔機能の向上に関する施策についても総合的に推進することとしている。

事務事業評価調書

事務事業名	食育推進事業				
担当部名	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成21年度	改正 内容												
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	食育基本法、食育推進基本計画、大阪府食育推進計画、吹田市食育推進計画													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	6	細節	10							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	市民												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践できるようになる。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	生涯にわたって健全な心身を培い、豊かな人間性を育む。													
(7)	事業概要	食に対する意識の向上や食生活の改善によって、市民の健康の保持・増進を図るため、食育を推進する。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	4	項	1	目	15	大事業	5	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		239	175	54	32	54							
		人件費	職員数	人	0.40	0.20	0.20	0.20	0.20						
			総額(B)	千円	3,320	1,590	1,671	1,671	1,634						
		総事業費(A+B)		3,559	1,765	1,725	1,703	1,688							
		(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0						
			国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0							
		(内訳)	市負担(D)		3,559	1,764	1,725	1,703	1,688						
			地方債		0	0	0	0	0						
その他			0	0	0	0	0								
一般財源			3,559	1,764	1,725	1,703	1,688								
財源計(C+D)		3,559	1,764	1,725	1,703	1,688									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 講演会参加者数	目標値	(単位:人)	150.00	150.00	150.00	
			実績値	(単位:人)	140.00	91.00		
			達成度(%)		93.3	60.7		
	目標値の積算方法	定員数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		23.96	18.71	
				一般財源(単位:千円)		23.96	18.71	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) 困難な場合		①	指標内容 講演会参加者のうち講座内容を今後の生活に取り入れたいと思った人の割合	目標値	(単位:%)	100.00	100.00	0.00
	実績値			(単位:%)	77.20	74.68		
	達成度(%)			77.2	74.7			
	目標値の積算方法	アンケート回答者全員	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		43.45	22.80	
				一般財源(単位:千円)		43.45	22.80	
	(4) 総合評価	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
①		活動内容					目標	
	成果内容					達成状況		
今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明		本事業のさらなる推進に向けては、保育所や幼稚園、小中学校をはじめとする、庁内の各部署や関係団体と連携を図るとともに、各自の取組を側面から支援することで、より効果的に事業を実施する必要があり、今後も継続すべき事業である。						

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	食育推進事業	事業区分	その他
事務事業番号	00598				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健センター	事務事業番号	00598
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

食育推進事業全体の達成度を定量的に評価する成果指標の設定が困難なことから、代表的な事業の成果指標をもって評価を行っている。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本事業のさらなる推進に向けては、保育所や幼稚園、小中学校をはじめとする、庁内の各部署や関係団体と連携を図るとともに、各自の取組を側面から支援することで、より効果的に事業を実施する必要があり、今後も継続すべき事業である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成28年度から5年間を計画期間とする「健康すいた21(第2次)」を平成28年3月に策定した。本計画では、吹田市健康増進計画、吹田市食育推進計画、吹田市歯と口腔の健康づくり推進計画の3計画を一体的に策定しており、今後、食育施策のほか、健康づくりに係る施策や歯と口腔機能の向上に関する施策についても総合的に推進することとしている。

事務事業評価調書

事務事業名	口腔ケアセンター運営事業				
担当部名	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成24年度	改正 内容	補助対象事業の見直しによる吹田市口腔ケア推進事業補助金交付要領の一部改正、吹田市歯と口腔の健康づくり推進条例の制定											
(2)	直近の改正	平成26年度													
(3)	根拠法令等	吹田市歯と口腔の健康づくり推進条例、吹田市母子保健事業実施要領、吹田市口腔ケア推進事業補助金交付要領													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部		<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)		<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)									
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	6	細節	20							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	市民											
		結果 (どのような効果が得られるのか)	口腔ケアセンターを歯科口腔保健の活動推進の拠点として、市民の口腔機能の維持・改善等に関する説明、歯科口腔保健に関する情報の発信・展示等を行い、市民の口腔ケアに関する知識の普及と啓発に努める。 市民の健康保持・増進及び歯科口腔保健の向上が図られる。												
(7)	事業概要	吹田市口腔ケアセンターの管理運営及び歯科口腔保健に関する情報の発信や展示を行う吹田市口腔ケア活動推進業務と、赤ちゃんの歯の広場業務を委託により実施。また、口腔ケア推進事業について補助を行う。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	4	項	1	目	15	大事業	6	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		6,990	6,989	6,990	6,990	6,990							
		人件費	職員数	人	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10						
			総額(B)	千円	830	795	836	836	817						
		総事業費(A+B)		7,820	7,784	7,826	7,826	7,807							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		7,820	7,784	7,826	7,826	7,807							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			7,820	7,784	7,826	7,826	7,807								
財源計(C+D)		7,820	7,784	7,826	7,826	7,807									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	一般社団法人吹田市歯科医師会										
				②											
				③											
		<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	一般社団法人吹田市歯科医師会										
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00				
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
		目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)			0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
		達成度(%)		0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00				
(3) の3が困難な場合を示す	①	活動内容	市民の口腔機能の維持・改善等に関する説明、歯科口腔保健に関する情報の発信・展示等を行い、市民の口腔ケアに関する知識の普及及び啓発に努める。			目標	市民の口腔ケアに関する知識の普及と啓発に努め、もって市民の健康保持・増進及び歯科口腔保健の向上を図る。	
	②	成果内容	口腔ケアセンターの利用を機会に、市民一人ひとりが自身の口腔ケアについて考え、健康の保持・増進に取り組めるようになる。			達成状況	歯科口腔保健向上の達成状況を測定する代表的な指標設定は困難。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		<p>歯科口腔保健の推進に関する法律(歯科口腔保健法)が平成23年8月に制定され、国民の歯や口腔の健康が質の高い生活を営むために重要であり、その実現のためには国民、国、地方公共団体、歯科医療従事者の連携が不可欠であると示された。</p> <p>また、本市においては、吹田市歯と口腔の健康づくり推進条例として、府内市町村では初となる歯科口腔保健の推進に関する条例を平成26年9月に制定した。</p> <p>本市においても、法及び条例の理念に基づき、市民の歯科口腔の健康状態の特性を分析及び把握し、更なる歯科口腔保健の推進を図る必要があると考える。</p>					

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	口腔ケアセンター運営事業	事業区分	その他
事務事業番号	00599				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健センター	事務事業番号	00599
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

歯科口腔保健の推進に関する法律(歯科口腔保健法)が平成23年8月に制定され、国民の歯や口腔の健康が質の高い生活を営むために重要であり、その実現のためには国民、国、地方公共団体、歯科医療従事者の連携が不可欠であると示された。
また、本市においては、吹田市歯と口腔の健康づくり推進条例として府内市町村では初となる歯科口腔保健の推進に関する条例を平成26年9月に制定した。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>口腔ケアセンターの運営にあたっては、これまで本市の各種歯科健診の実施等、広く市民の歯科口腔保健に関する事業を市との連携により推進してきた実績のある一般社団法人吹田市歯科医師会を担い手とする ことで、安心安全に業務を遂行できる体制づくりを整えている。 平成25年度には、平成24年度(新規実施年度)の事業実績の分析及び補助金対象事業の整理について検討を行い、平成26年度からの事業内容に反映させている。 今後も、効率的な事業運営を図ることを目的に、事業内容の改善等を検討していく。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

「歯科口腔保健の推進に関する法律(歯科口腔保健法)」が平成23年8月に制定され、国民の歯や口腔の健康が質の高い生活を営むために重要であり、その実現のためには国民、国、地方公共団体、歯科医療従事者の連携が不可欠であると示された。
また、本市においては、吹田市歯と口腔の健康づくり推進条例として、府内市町村では初となる歯科口腔保健の推進に関する条例を平成26年9月に制定した。
本市においても、法及び条例の理念に基づき、市民の歯科口腔の健康状態の特性を分析及び把握し、更なる歯科口腔保健の推進を図る必要があると考える。

事務事業評価調書

事務事業名	1歳6か月児健診事業				
担当部名	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	昭和62年度	改正 内容	吹田市歯と口腔の健康づくり推進条例を制定。											
(2) 直近の改正	平成26年度													
(3) 根拠法令等	母子保健法、吹田市歯と口腔の健康づくり推進条例、吹田市母子保健事業実施要領													
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	6	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	生後1歳6か月から2歳を超えない幼児											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	健康診査により幼児の疾病や障がい等を早期に発見し、早期治療につなげる。また、育児相談を実施し、保護者の育児不安を解消し、虐待の発生予防・早期発見を図る。												
(7) 事業概要	<p>幼児期において、身体の発育及び精神発達の面から重要な時期である1歳6か月児に対し、医師・歯科医師等による健康診査を実施し、その結果に基づいて専門職(保健師、看護師、栄養士、歯科衛生士、発達指導員、保育士)による相談・指導を行う。内科健診は個別健診(委託)と集団健診(直営)で実施、歯科健診は集団健診(直営)のみで実施している。</p>													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	4	項	1	目	17	大事業	2	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		19,191	17,880	19,592	19,104	19,786							
	人件費	職員数	人	2.90	3.00	3.00	3.00	3.00						
		総額(B)	千円	24,070	23,841	25,056	25,056	24,510						
	総事業費(A+B)		43,261	41,721	44,648	44,160	44,296							
	(内訳)	特定財源(C)		5	4	5	0	5						
		国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
	その他		5	4	5	0	5							
	(内訳)	市負担(D)		43,256	41,717	44,643	44,160	44,291						
		地方債		0	0	0	0	0						
その他		0	0	0	0	0								
一般財源		43,256	41,717	44,643	44,160	44,291								
財源計(C+D)		43,261	41,721	44,648	44,160	44,296								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	一般社団法人 吹田市医師会										
			②											
			③											
	主な委託内容		内科個別健診											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 内科健診の受診者数	目標値	(単位:人)	3,354.00	3,462.00	3,500.00
			実績値	(単位:人)	3,270.00	3,400.00	/
		達成度(%)		97.5	98.2		
	目標値の積算方法 受診対象者数(健診票発送数)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	12.52	12.99		
			一般財源(単位:千円)	12.51	12.99		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合		①	指標内容 育児相談実施数	目標値	(単位:人)	1,950.00	2,040.00
	実績値			(単位:人)	1,434.00	1,551.00	/
	達成度(%)		73.5	76.0			
	目標値の積算方法 集団健診受診者数の6割	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	28.54	28.47		
			一般財源(単位:千円)	28.54	28.47		
	(4) 総合評価	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
①		活動内容				目標	
	成果内容				達成状況		
今後の方向性 (実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定						
	評価の説明	<p>母子保健法に基づく事業のため、継続して実施する必要があるとともに、今後も受診率向上、未受診児の全数把握に努めていく必要がある。</p> <p>発達障がい早期発見、早期支援を目的に、大阪府から乳幼児健診の問診項目の改定の要求があり、平成27年度に健診項目の一部見直しを実施した。また、平成28年3月から、「健やか親子21第2次計画」の評価指標として、全国統一のデータを収集するため、乳幼児健診の問診項目を追加して実施した。</p> <p>また、大阪府は健診未受診児の所在確認の徹底を柱とした「大阪府における乳幼児健診未受診児ガイドライン」を作成した。本市においてもガイドラインに基づき平成27年度から体制強化したが、未受診訪問の実施及び関係機関との連携になお一層努める必要がある。</p>					

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	1歳6か月児健診事業	事業区分	その他
事務事業番号	00600				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	98	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	保健センター	事務事業番号	00600
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	<p>The radar chart displays scores for five evaluation dimensions. The vertical axis represents the score, ranging from 0 to 20. The dimensions and their scores are: 妥当性 (20), 有効性 (15), 効率性 (10), 公平性 (5), and 持続可能性 (5).</p>		
(3)現状分析	<p>受診率は、97%(内科健診)を超えており、相当の市民ニーズがある。 健診では、医師、歯科医師の診察結果に基づき、専門職(保健師、看護師、栄養士、歯科衛生士、発達指導員、保育士)が育児の助言をするとともに保護者の悩みに対応する相談を実施している。 歩行や発語など身体面・精神面の総合的な健診として重要であり、必要に応じてこども部が実施している親子教室や育児教室につなげている。また、健診会場では、地域の子育て支援サービス等の育児情報の提供も行っている。 さらに、健診未受診者に対しては、平成26年11月に大阪府が作成した「大阪府における乳幼児健診未受診児ガイドライン」に沿って確実に対応している。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

大阪府から要望のあった、発達障がいの早期発見、早期支援を目的とした乳幼児健診の問診項目の改訂と、厚生労働省から通知のあった「健やか親子21第2次計画」の評価指標としての全国統一の問診項目の追加を、本市でも平成28年3月から導入し実施している。今後は問診項目の改訂後の評価や分析が必要である。

事務事業評価調書

事務事業名	2歳6か月児歯科健診事業				
担当部名	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成9年度	改正 内容	吹田市歯と口腔の健康づくり推進条例を制定。											
(2)	直近の改正	平成26年度													
(3)	根拠法令等	母子保健法、吹田市歯と口腔の健康づくり推進条例、吹田市母子保健事業実施要領													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	6	細節	20							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	生後2歳6か月から3歳を超えない幼児												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	幼児に対して歯科健康診査を行うう蝕の早期発見・早期治療を図るとともに、歯科保健指導を行い、う蝕予防に努める。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	母子保健の向上が図られる。													
(7)	事業概要	2歳6か月児を対象に口腔内診査、カリオスタット検査、歯科保健指導、その他口腔に関する相談・指導を行う。う蝕が発見された場合は治療勧奨する。また、保健師も出務し育児相談をはじめ、総合的な支援を行っている。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	4	項	1	目	17	大事業	2	中事業	2	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		6,509	6,088	6,555	6,173	6,628							
		人件費	職員数	人	0.90	0.70	0.50	0.50	0.50						
			総額(B)	千円	7,470	5,563	4,176	4,176	4,085						
		総事業費(A+B)		13,979	11,651	10,731	10,349	10,713							
		特定財源(C)		11	0	11	0	11							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	11	0	11	0	11							
		市負担(D)		13,968	11,651	10,720	10,349	10,702							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
一般財源	13,968		11,651	10,720	10,349	10,702									
財源計(C+D)		13,979	11,651	10,731	10,349	10,713									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	2歳6か月児歯科健診受診者数	目標値	(単位:人)	3,539.00	3,486.00	3,500.00
			実績値	(単位:人)	2,842.00	2,753.00	/	
				達成度(%)		80.3		79.0
	目標値の積算方法	受診対象者数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		4.66		3.76
				一般財源(単位:千円)		4.66	3.76	
	(2) 成果指標	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/	
			達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) 困難な場合		①	指標内容	2歳6か月児歯科健診受診者のうち蝕なしの人数	目標値	(単位:人)	2,842.00	2,753.00
	実績値			(単位:人)	2,700.00	2,609.00	/	
			達成度(%)		95.0	94.8		
	目標値の積算方法	2歳6か月児歯科健診受診者数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		4.90		3.97
				一般財源(単位:千円)		4.90	3.97	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
		達成度(%)		0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
①	活動内容					目標		
	②	成果内容					達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		母子保健法に基づき実施している事業であり、「吹田市歯と口腔の健康づくり推進条例」の第8条基本的施策において、乳幼児期におけるむし歯予防及び食育の支援のために必要な施策を行うとされており、本事業を継続して実施する必要がある。今後もさらなる受診率の向上に努める必要がある。					

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	2歳6か月児歯科健診事業	事業区分	その他
事務事業番号	00601				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	96	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	保健センター	事務事業番号	00601
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>う蝕罹患者が増加する3歳前にう蝕予防への意識づけが強化できるとともに、う蝕の早期発見、早期治療につなげている。また、保健師が出務しているため歯科以外の相談にも対応できている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	3歳児健診事業				
担当部名	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成9年度	改正 内容	吹田市歯と口腔の健康づくり推進条例を制定。											
(2)	直近の改正	平成26年度													
(3)	根拠法令等	母子保健法、吹田市歯と口腔の健康づくり推進条例、吹田市母子保健事業実施要領													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	6	細節	20							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	生後3歳から4歳を超えない幼児												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	健康診査により幼児の疾病や障がい等を早期に発見し、早期治療につなげる。また、育児相談を実施し、保護者の育児不安を解消し、虐待の発生予防・早期発見を図る。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	母子保健の向上が図られる。													
(7)	事業概要	<p>幼児期において、身体の発育及び精神発達の面から重要な時期である3歳児に対し、医師・歯科医師による健康診査を実施し、その結果に基づいて専門職(保健師、看護師、栄養士、歯科衛生士、発達指導員、保育士)による相談・指導を行う。なお、内科健診は3歳3か月の時期に、歯科健診は3歳6か月の時期に案内を行っている。</p> <p>内科健診は個別健診(委託)と集団健診(直営)で実施、歯科健診は集団健診(直営)のみで実施している。</p>													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	4	項	1	目	17	大事業	2	中事業	3	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		21,693	21,250	21,722	21,626	22,119							
		人件費	職員数	人	2.90	3.00	3.00	3.00	3.00						
			総額(B)	千円	24,070	23,841	25,056	25,056	24,510						
		総事業費(A+B)		45,763	45,091	46,778	46,682	46,629							
		(内訳)	特定財源(C)		5	4	5	0	5						
			国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
		その他		5	4	5	0	5							
(内訳)	市負担(D)		45,758	45,087	46,773	46,682	46,624								
	地方債		0	0	0	0	0								
	その他		0	0	0	0	0								
	一般財源		45,758	45,087	46,773	46,682	46,624								
財源計(C+D)		45,763	45,091	46,778	46,682	46,629									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	一般社団法人 吹田市医師会										
				②											
				③											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	主な委託内容		内科個別健診											
		①													
		②													
③															
<input type="checkbox"/> その他		内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	内科健診の受診者数	目標値	(単位:人)	3,320.00	3,595.00	3,700.00
			実績値	(単位:人)	3,183.00	3,242.00	/	
				達成度(%)		95.9		90.2
	目標値の積算方法	受診対象者数(健診票発送数)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		13.92		14.40
				一般財源(単位:千円)		13.92	14.40	
	(2) 成果指標	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/	
			達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容	育児相談実施数	目標値	(単位:人)	1,992.00	1,945.00
	実績値			(単位:人)	970.00	1,101.00	/	
			達成度(%)		48.7	56.6		
	目標値の積算方法	集団健診受診者数の6割	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		45.67		42.40
				一般財源(単位:千円)		45.66	42.40	
	(4) 総合評価	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/	
			達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法				単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
①	活動内容					目標		
	②	成果内容					達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		母子保健法に基づく事業のため、継続して実施する必要があるとともに、今後も受診率向上、未受診児の全数把握に努めていく必要がある。 発達障がい早期発見、早期支援を目的に、大阪府から乳幼児健診の問診項目の改定の要求があり、平成27年度に健診項目の一部見直しを実施した。また、平成28年3月から、「健やか親子21第2次計画」の評価指標として、全国統一のデータを収集するため、乳幼児健診の問診項目を追加して実施した。 また、大阪府は健診未受診児の所在確認の徹底を柱とした「大阪府における乳幼児健診未受診児ガイドライン」を作成した。本市においてもガイドラインに基づき平成27年度から体制強化したが、未受診訪問の実施及び関係機関との連携になお一層努める必要がある。					

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	3歳児健診事業	事業区分	その他
事務事業番号	00602				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	98	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健センター	事務事業番号	00602
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>健診では、医師、歯科医師の診察結果に基づき、専門職(保健師、看護師、栄養士、歯科衛生士、発達指導員、保育士)が育児の助言をするとともに悩みを持つ保護者に対して、相談を実施している。この時期の健診は、視聴覚の疾病や発達障がい等を早期発見するために重要であり、必要に応じて精密検査のために専門医を紹介したり、こども部が実施している親子教室などにつないでいる。なお、健診会場では、親子遊びや地域の子育て支援サービス等の育児情報の提供も行っている。さらに、健診未受診者に対しては、平成26年11月に大阪府が作成した「大阪府における乳幼児健診未受診児ガイドライン」に沿って確実に対応している。</p> <p>3歳児健診の内科健診は個別健診と集団健診の併用方式を取っており、集団健診では、1名の内科医で内科健診を実施している。しかし最近内科健診を集団健診で受診する方が増えており、集団健診に出務する医師の負担が増大しているため、今後出務医師の増員等何らかの解決方法が必要である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

大阪府から要望のあった、発達障がいの早期発見、早期支援を目的とした乳幼児健診の問診項目の改訂と、厚生労働省から通知のあった「健やか親子21第2次計画」の評価指標としての全国統一の問診項目の追加を、本市でも平成28年3月から導入し実施している。今後は問診項目の改訂後の評価や分析が必要である。

事務事業評価調書

事務事業名	4か月児健診事業				
担当部名	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成9年度	改正 内容												
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	母子保健法、吹田市母子保健事業実施要領													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	6	細節	20							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	生後4か月から6か月を超えない乳児												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	乳児に対して健康診査を行い疾病や障がいの早期発見・早期治療を図るとともに、育児上の悩みや不安の軽減を図る。												
		結果 (どのような効果が得られるのか)	母子保健の向上が図られる。												
(7)	事業概要	乳児期の大切な節目である4か月児に対し、疾病の早期発見と発育、発達状態の確認等を目的に身近な医療機関での健康診査を実施するとともに、育児・栄養・発達等についての保健指導や、グループワークをとおして親同士のつながりを図ることにより育児不安を解消し、健全な子育てができるように支援の場を設ける。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	4	項	1	目	17	大事業	2	中事業	4	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		19,449	20,359	21,350	22,977	22,527							
		人件費	職員数	人	1.70	2.00	2.00	2.00	2.00						
			総額(B)	千円	14,110	15,894	16,704	16,704	16,340						
		総事業費(A+B)		33,559	36,253	38,054	39,681	38,867							
		(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0	0						
			国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
		(内訳)	市負担(D)		33,559	36,253	38,054	39,681	38,867						
			地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
			一般財源		33,559	36,253	38,054	39,681	38,867						
財源計(C+D)		33,559	36,253	38,054	39,681	38,867									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	一般社団法人 吹田市医師会										
				②											
				③											
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	4か月児健診受診者数	目標値	(単位:人)	3,200.00	3,529.00	3,700.00
			実績値	(単位:人)	3,266.00	3,461.00	/	
		達成度(%)			102.1	98.1		
	目標値の積算方法	受診対象者数(健診票発送数)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		10.37		11.47
				一般財源(単位:千円)		10.37	11.47	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	指標内容	すくすく赤ちゃんクラブ来所者数	目標値	(単位:人)	1,920.00	2,117.00	2,220.00
			実績値	(単位:人)	1,793.00	2,068.00	/	
		達成度(%)			93.4	97.7		
	目標値の積算方法	4か月児健診対象者の6割	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		18.89		19.19
				一般財源(単位:千円)		18.89	19.19	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		<p>発育や運動面のめざましい発達が見られ、また、離乳食の開始等の不安も高まる時期であり、乳児期の保健指導として重要な事業である。</p> <p>平成28年3月から、「健やか親子21第2次計画」の評価指標として、全国統一のデータを収集するため、乳幼児健診の問診項目を追加した。</p> <p>大阪府は健診未受診児の所在確認の徹底を柱とした「大阪府における乳幼児健診未受診児ガイドライン」を作成した。本市においてもガイドラインに基づき平成27年度から体制強化をしたが、未受診訪問の実施及び関係機関との連携になお一層努める必要がある。</p>					

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	4か月児健診事業	事業区分	その他
事務事業番号	00603				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		⑤活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	98	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	保健センター	事務事業番号	00603
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>4か月児健康診査は市内の協力医療機関で実施しており、受診率は96%と高くニーズがきわめて高い。股関節の異常や、運動発達の遅れ、発育増加不良等を、早期に把握するために重要な健診であり、必要に応じて、協力医療機関から依頼を受け、経過観察健診や療育機関等へつなぎ支援している。</p> <p>すくすく赤ちゃんクラブは、身近な市民ホール等で実施しており、市民の参加状況や利便性を検討した結果、平成27年度から会場を11か所に拡充した。その効果もあり参加者は年々増加している。乳児期早期に、健康や育児上の助言や相談を行うことにより、育児不安の軽減を図るとともに、参加者同士の交流、地域の子育て支援情報の提供を行い、地域での孤立を防ぎ、虐待の防止及び、健全育成の面で、大きな役割を担っている。さらに、健診未受診者に対しては、平成26年11月に大阪府が作成した「大阪府における乳幼児健診未受診児ガイドライン」に沿って確実に対応している。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

厚生労働省から通知のあった「健やか親子21第2次計画」の評価指標としての全国統一の問診項目の追加を、本市でも平成28年3月から導入し実施している。今後は問診項目の改訂後の評価や分析が必要である。

事務事業評価調書

事務事業名	妊婦・乳児一般・乳児後期健診事業				
担当部名	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成9年度	改正 内容	妊婦健康診査公費負担額の拡充。(全14回合計62,600円から101,560円に公費負担を拡充)											
(2)	直近の改正	平成26年度													
(3)	根拠法令等	母子保健法、吹田市母子保健事業実施要領													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部		<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)		<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)									
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	6	細節	20							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	(妊婦健診)妊婦 (乳児一般健診)乳児(乳児後期健診)生後9か月から1歳を超えない乳児												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	妊婦・乳児に対して健康診査を行い疾病や障がいの早期発見を図る。												
		結果 (どのような効果が得られるのか)	母子保健の向上が図られる。												
(7)	事業概要	妊婦・乳児に対して疾病等を早期に発見し、相談指導及び支援を行うことを目的として医療機関で健康診査を実施する。 (大阪府内の協力医療機関にて実施)													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	4	項	1	目	17	大事業	2	中事業	5	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		215,809	278,800	343,713	355,129	357,880							
		人件費	職員数	人	1.60	2.00	2.00	2.00	2.00						
			総額(B)	千円	13,280	15,894	16,704	16,704	16,340						
		総事業費(A+B)		229,089	294,694	360,417	371,833	374,220							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
		市負担(D)		229,089	294,694	360,417	371,833	374,220							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
一般財源	229,089		294,694	360,417	371,833	374,220									
財源計(C+D)		229,089	294,694	360,417	371,833	374,220									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	一般社団法人 大阪府医師会										
				②	一般社団法人 大阪府助産師会										
				③											
		<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	大阪府外で妊婦健康診査を受診した者										
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 妊婦・乳児一般・乳児後期健診受診件数合計 (妊婦健診については第1回目の受診者数)	目標値	(単位:人)	8,840.00	9,140.00	9,250.00	
			実績値	(単位:人)	9,143.00	9,639.00		
			達成度(%)		103.4	105.5		
	目標値の積算方法	予算積算件数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		31.88	38.58	
				一般財源(単位:千円)		31.88	38.58	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) 困難な場合		①	指標内容 らっこクラブ来所者数	目標値	(単位:人)	990.00	990.00	990.00
	実績値			(単位:人)	581.00	415.00		
	達成度(%)			58.7	41.9			
	②	指標内容	乳児後期健診対象者の30%	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	501.75	895.98	
					一般財源(単位:千円)	501.75	895.98	
					達成度(%)		0.0	
の3が困難な場合	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
				目標				
				達成状況				
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		母子保健法に基づき実施している事業であり、今後も継続して実施する必要がある。妊婦健診については、出産年齢の高齢化による健康管理が重要となる妊婦の増加や、経済的な理由等により健康診査を受診しない妊婦もみられるところであり、母体や胎児の健康確保を図り、飛び込み出産や虐待を予防をしていく上で、重要性が高い事業である。平成26年11月からは妊婦健診公費助成額を101,560円に拡充したところであるが、支援が必要な妊婦をより早期に把握し、妊娠・出産、子育てを通して切れ目なく支援できるよう支援体制の充実が求められている。また、平成27年度に、妊娠届出をせず、妊婦健診を全く受けてない妊婦が自宅出産し、出産直後に児が死亡するといったケースがみられた。今後も引き続き、妊婦健診の必要性及び妊娠SOSの啓発に努める必要がある。					

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	妊婦・乳児一般・乳児後期健診事業	事業区分	その他
事務事業番号	00604				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		⑤活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
(5) 持続可能性 (20点)	14	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	保健センター	事務事業番号	00604
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>妊婦健康診査は、母体や胎児の健康管理のために、妊娠中に望ましいとされる14回の助成を行っており、平成26年11月からは、妊婦一人あたりの公費助成額を101,560円に増額している。</p> <p>飛び込み出産や、乳児の虐待死を防ぐために、産婦人科等との連携を強化し、妊娠期から早期に支援が必要な妊婦を把握し、切れ目のない支援を行っていくことが大切である。また、望まない妊娠や思いがけない妊娠が妊婦健診の未受診や飛び込み出産につながることから、「妊娠SOS」の周知や、妊婦健診の必要性を引き続き、妊婦面接や、ホームページ等で行っていく。</p> <p>乳児一般健康診査及び乳児後期健康診査は、協力医療機関から健診後の保健指導の依頼から、経過観察健診の紹介や訪問指導による育児支援を行っており、育児不安の大きい乳児期に適切にかかわることで、健全育成につながっている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	乳幼児精密健診事業				
担当部名	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成9年度	改正 内容	視覚検診を個別検診として実施。											
(2)	直近の改正	平成22年度													
(3)	根拠法令等	母子保健法、吹田市母子保健事業実施要領													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	6	細節	20							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	3歳児健診の結果、精密健診を行う必要がある幼児												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	幼児に対して精密健診を実施し、疾病や障がいの早期発見を行い適切な治療につなげる。												
		結果 (どのような効果が得られるのか)	母子保健の向上が図られる。												
(7)	事業概要	3歳児健康診査の結果、精密検査を必要とする幼児を対象に実施。聴覚二次検診と視力二次検診を実施している。 (市内協力医療機関での個別検診として実施)													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	4	項	1	目	17	大事業	2	中事業	6	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		779	930	790	916	975							
		人件費	職員数	人	0.20	0.50	0.50	0.50	0.50						
			総額(B)	千円	1,660	3,974	4,176	4,176	4,085						
		総事業費(A+B)		2,439	4,904	4,966	5,092	5,060							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		2,439	4,904	4,966	5,092	5,060							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
			一般財源		2,439	4,904	4,966	5,092	5,060						
財源計(C+D)		2,439	4,904	4,966	5,092	5,060									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	一般社団法人 吹田市医師会										
				②											
				③											
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 視力二次検診及び聴覚二次検診受診者数	目標値	(単位:人)	300.00	300.00	300.00	
			実績値	(単位:人)	154.00	185.00		
			達成度(%)		51.3	61.7		
	目標値の積算方法	受診対象者数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		16.37	27.52	
				一般財源(単位:千円)		16.37	27.52	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	指標内容 視力二次検診及び聴覚二次検診受診者の異常ありの数	目標値	(単位:人)	157.00	185.00	185.00	
			実績値	(単位:人)	82.00	96.00		
			達成度(%)		52.2	51.9		
	目標値の積算方法	視力二次検診及び聴覚二次検診受診者数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		30.74	53.04	
				一般財源(単位:千円)		30.74	53.04	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		母子保健法に規定されている事業であり、今後も継続していく必要がある。視聴覚の異常を早期に発見し、早期治療を図ることは大きな意義があるが、視覚、聴覚ともに要精密検査となった方の二次検診受診率が低いため、受診率向上が大きな課題である。受診啓発について今後もより努力していく必要がある。					

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	乳幼児精密健診事業	事業区分	その他
事務事業番号	00605				

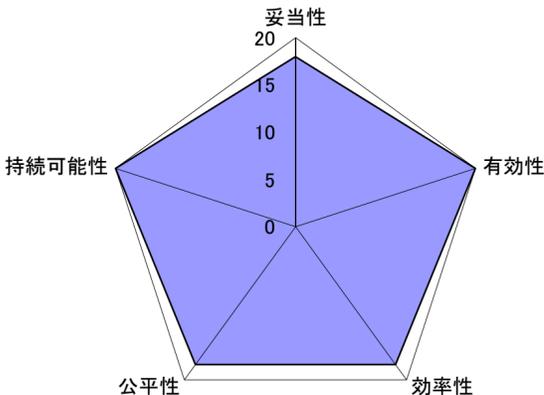
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	94	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健センター	事務事業番号	00605
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>3歳児健診の結果、適切な精密検査を行い、斜視や弱視などの眼科疾患や滲出性中耳炎などの耳鼻科疾患の早期発見につとめ、早期治療につないでいる。 一次スクリーニングが、家庭でのアンケートによる検診となっており、実施方法の精度の問題について多方面から指摘を受けている。 一次スクリーニングに検査機器を導入するなどし、質の向上に努めている先進市もあることから、今後、本市においても効果的、効率的な実施方法の検討が必要である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

現在3歳児健康診査において視聴覚アンケートを行い、聴覚疾患の早期発見に努めているが、平成28年3月に厚労省から、聴覚障がいをより早期に発見するため、新生児を対象とした新生児聴覚検査に係る取り組みの充実について通知があった。新生児聴覚検査事業は平成19年より地方交付税措置もされており、本事業の実施については今後吹田市医師会への実態調査を行うなどを経て、検討をしていく必要がある。

事務事業評価調書

事務事業名	経過観察健診事業				
担当部名	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成9年度	改正 内容												
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	母子保健法、吹田市母子保健事業実施要領													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	6	細節	20							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	乳幼児健診等の結果、要経過観察と判断された乳幼児												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	乳幼児に対して健康診査、相談を行い疾病や障がいの早期発見を図り、適切な支援につなげる。												
		結果 (どのような効果が得られるのか)	母子保健の向上が図られる。												
(7)	事業概要	各種乳幼児健診、相談の結果、経過観察を必要とする乳幼児を対象に、小児科、小児神経科等の専門医師や発達指導員による健診、相談を行い疾病や障がいの早期発見、健全な育成を期するとともに具体的なアドバイスを実施している。必要に応じてこども部の各種事業(バンビ親子教室・パンダ親子教室など)につないでいる。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	4	項	1	目	17	大事業	2	中事業	7	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		4,618	4,440	4,792	4,710	4,931							
		人件費	職員数	人	0.90	1.00	1.00	1.00	1.00						
			総額(B)	千円	7,470	7,947	8,352	8,352	8,170						
		総事業費(A+B)		12,088	12,387	13,144	13,062	13,101							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		12,088	12,387	13,144	13,062	13,101							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			12,088	12,387	13,144	13,062	13,101								
財源計(C+D)		12,088	12,387	13,144	13,062	13,101									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 経過観察健診(診察、発達相談)受診者数	目標値	(単位:人)	1,657.00	1,684.00	1,700.00
			実績値	(単位:人)	1,396.00	1,363.00	/
		達成度(%)		84.2	80.9		
	目標値の積算方法 経過観察健診(診察、発達相談)対象者数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	8.30	9.58		
			一般財源(単位:千円)	8.30	9.58		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が困難な場合		①	指標内容 発達相談受診者数	目標値	(単位:人)	1,657.00	1,430.00
	実績値			(単位:人)	1,196.00	1,140.00	/
	達成度(%)		72.2	79.7			
	目標値の積算方法 発達相談対象者数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	9.69	11.46		
			一般財源(単位:千円)	9.69	11.46		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)		0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明	母子保健法に規定されている事業であり、継続していく必要がある。 発達相談については対象者が増加傾向にあり、予約待ちの方が恒常的にいる状態のため、適切な時期に案内できるように今後も努めていく。発達相談枠数の増枠も検討していく必要がある。					

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	経過観察健診事業	事業区分	その他
事務事業番号	00606				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	98	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	保健センター	事務事業番号	00606
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>乳幼児健診等で経過観察が必要な児に対し、専門医による診察や発達指導員等による相談を行い、適切な支援につなげている。診察や相談を通じ必要なケースについては専門の医療機関やこども部が実施している親子教室や療育機関などの紹介を行っている。発達指導員による相談は予約待ちが出ることも多く、相談枠を広げているが、相談必要数が増えている。</p> <p>また、発達相談はを市職員と臨時雇用員の発達相談員で実施しているが、臨時雇用員の報償費が他市に比べ単価が低いため、毎年雇用に苦慮している。報償費の増額も検討しないと、発達相談員の確保が難しい。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

大阪府が要望していた発達障がいの早期発見、早期発達支援を目的とした乳幼児健診の問診項目について、本市でも平成27年3月から導入した。そのため、発達相談対象児が増加し、より発達相談枠数が不足する可能性がある。

事務事業評価調書

事務事業名	歯科フォロー事業				
担当部名	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成9年度	改正 内容	吹田市歯と口腔の健康づくり推進条例を制定。											
(2) 直近の改正	平成26年度													
(3) 根拠法令等	母子保健法、吹田市歯と口腔の健康づくり推進条例、吹田市母子保健事業実施要領													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	6	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	範囲等	1歳6か月児・2歳6か月児・3歳児の歯科健康診査の受診者のうち要フォロー児												
	目標 (どういう状態にしたいのか)	要フォロー児に対して、歯科保健指導を行い、う蝕の予防を図る。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	母子保健の向上が図られる。												
(7) 事業概要	1歳6か月児・2歳6か月児・3歳児健康診査の受診者でカリオスタット検査の結果及び口腔内の状況生活習慣等の状況に応じて歯科に係るフォローが必要とされた幼児に対し、歯科医師や歯科衛生士による口腔内観察、歯科保健指導、口腔内に関する歯科相談を行う。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	4	項	1	目	17	大事業	2	中事業	8	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		2,031	1,973	2,062	2,033	2,048							
	人件費	職員数	人	0.90	0.50	0.50	0.50	0.50						
		総額(B)	千円	7,470	3,974	4,176	4,176	4,085						
	総事業費(A+B)		9,501	5,947	6,238	6,209	6,133							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		9,501	5,947	6,238	6,209	6,133							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
		一般財源		9,501	5,947	6,238	6,209	6,133						
財源計(C+D)		9,501	5,947	6,238	6,209	6,133								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	歯科フォロー受診者数	目標値	(単位:人)	2,482.00	2,358.00	2,520.00
			実績値	(単位:人)	1,083.00	1,007.00	/	
		達成度(%)			43.6	42.7		
	目標値の積算方法	歯科フォロー発送数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		8.43		6.17
				一般財源(単位:千円)		8.43	6.17	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	指標内容	食生活や生活習慣等で改善できていた人の数	目標値	(単位:人)	1,083.00	1,007.00	0.00
			実績値	(単位:人)	849.00	795.00	/	
		達成度(%)			78.4	78.9		
	目標値の積算方法	歯科フォロー受診者数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		10.75		7.81
				一般財源(単位:千円)		10.75	7.81	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		母子保健法に基づき実施している事業であり、「吹田市歯と口腔の健康づくり推進条例」の第8条基本的施策において乳幼児期におけるむし歯予防及び食育の支援のために必要な施策を行うとされており、本事業を継続的に実施する必要がある。特に要フォロー児のう蝕予防には、個々に応じた歯科保健指導を実施することが生活習慣や食生活習慣の改善とその継続に効果的であることから、今後もさらに受診率の向上に努める必要がある。					

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	歯科フォロー事業	事業区分	その他
事務事業番号	00607				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	16	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健センター	事務事業番号	00607
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>歯科健診の結果により、要フォロー児とその保護者に対して、う蝕予防及びう蝕進行しないように個別に歯科保健指導を強化して行っている。う蝕の発生により、幼児の成長発育や永久歯に対する影響があることを理解してもらい、生活習慣や食生活習慣の改善を促すことで幼児の歯科保健の向上及び健全育成を図っている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	6歳臼歯健康診査事業				
担当部名	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成12年度	改正 内容	吹田市歯と口腔の健康づくり推進条例を制定。											
(2)	直近の改正	平成26年度													
(3)	根拠法令等	母子保健法、吹田市歯と口腔の健康づくり推進条例、吹田市6歳臼歯健康診査業務実施要領													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部		<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)		<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)									
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	6	細節	20							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	満6歳から7歳を超えない児												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	6歳臼歯及び永久歯のう蝕予防及び幼児の健全な育成を図る。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	母子保健の向上が図られる。													
(7)	事業概要	6歳臼歯及び永久歯のう蝕予防を目的に市内の協力歯科医院にて無料で歯科健診・歯科保健指導を実施し、母子保健の向上を図る。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	4	項	1	目	17	大事業	2	中事業	9	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		8,231	8,306	8,256	8,775	8,548							
		人件費	職員数	人	0.40	0.30	0.30	0.30							
			総額(B)	千円	3,320	2,385	2,506	2,506							
		総事業費(A+B)		11,551	10,691	10,762	11,281		10,999						
		特定財源(C)		0	0	0	0		0						
		(内訳)	国		0	0	0	0							
			府		0	0	0	0							
			その他		0	0	0	0							
		市負担(D)		11,551	10,690	10,762	11,281		10,999						
		(内訳)	地方債		0	0	0	0							
			その他		0	0	0	0							
一般財源			11,551	10,690	10,762	11,281		10,999							
財源計(C+D)		11,551	10,690	10,762	11,281		10,999								
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	一般社団法人 吹田市歯科医師会										
				②											
				③											
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	6歳臼歯健康診査受診者数	目標値	(単位:人)	3,442.00	3,594.00	3,450.00
			実績値	(単位:人)	2,202.00	2,316.00	/	
		達成度(%)			64.0	64.4		
	目標値の積算方法	受診対象者数(健診票発送数)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		5.22		4.87
				一般財源(単位:千円)		5.22	4.87	
	(2) 成果指標	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) 困難な場合		①	指標内容	6歳臼歯健診受診者の中でう蝕経験なし者数	目標値	(単位:人)	2,202.00	2,316.00
	実績値			(単位:人)	1,269.00	1,352.00	/	
	達成度(%)			57.6	58.4			
	目標値の積算方法	6歳臼歯健診受診者数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		9.05		8.34
				一般財源(単位:千円)		9.05	8.34	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00	
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
①	活動内容					目標		
	②	成果内容					達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		母子保健法に基づき実施している事業であり、「吹田市歯と口腔の健康づくり推進条例」の第8条基本的施策において、乳幼児期におけるむし歯予防及び食育の支援のために必要な施策を行うとされているが、本事業を継続して実施する必要がある。今後も受診率の向上に努めていく。					

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	6歳臼歯健康診査事業	事業区分	その他
事務事業番号	00608				

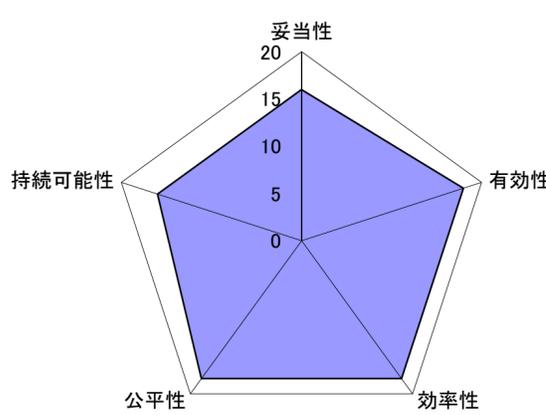
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健センター	事務事業番号	00608
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>6歳臼歯(永久歯の第一大臼歯)はかみ合わせの溝が深く、また完全に萌出するまでに期間がかかることから、手前の乳臼歯より高さが低い期間が長く、歯磨きがしにくいいため、永久歯の中で最もう蝕に罹患しやすい歯である。6歳臼歯健診では、う蝕の有無等の診察だけでなく、6歳臼歯を守るための保健指導を行っており、6歳臼歯が生えるこの時期に、う蝕予防の意識づけを親子ともに指導することは、将来にわたる歯科保健の向上につながっている。6歳臼歯のう蝕予防は、永久歯のう蝕経験歯数の低下にもつながり、8020推進事業にもつながっている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	妊婦歯科健診事業				
担当部名	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成14年度	改正 内容	吹田市歯と口腔の健康づくり推進条例を制定。											
(2)	直近の改正	平成26年度													
(3)	根拠法令等	母子保健法、吹田市歯と口腔の健康づくり推進条例、吹田市妊婦歯科健康診査業務実施要領													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部		<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)		<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)									
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	6	細節	20							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	妊婦												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	歯科健康診査・歯科保健指導を実施し、歯科疾患の早期発見と健康保持を図る。												
(7)	事業概要	結果 (どのような効果が得られるのか)	母子保健の向上が図られる。												
		妊婦を対象とした歯科疾患の早期発見・早期予防を目的に、市内の協力歯科医院にて歯科健康診査・歯科保健指導を妊娠中に1回(無料)実施し、母子保健の向上を図る。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	4	項	1	目	17	大事業	2	中事業	10	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		6,810	7,177	7,023	6,444	7,041							
		人件費	職員数	人	0.40	0.20	0.20	0.20							
			総額(B)	千円	3,320	1,590	1,671	1,671							
		総事業費(A+B)		10,130	8,767	8,694	8,115	8,675							
		(内訳)	特定財源(C)		0	0	0	0							
			国		0	0	0	0							
			府		0	0	0	0							
		その他		0	0	0	0								
		市負担(D)		10,130	8,766	8,694	8,115	8,675							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0							
その他			0	0	0	0									
一般財源			10,130	8,766	8,694	8,115	8,675								
財源計(C+D)		10,130	8,766	8,694	8,115	8,675									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	一般社団法人 吹田市歯科医師会										
				②											
				③											
		<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②															
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	妊婦歯科健康診査受診者数	目標値	(単位:人)	3,653.00	3,600.00	3,800.00
			実績値	(単位:人)	1,327.00	1,283.00	/	
		達成度(%)			36.3	35.6		
	目標値の積算方法	受診対象者数(母子健康手帳交付数)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		7.80		6.33
				一般財源(単位:千円)		7.80	6.33	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	指標内容	妊婦歯科健診受診者で治療が必要がない者	目標値	(単位:人)	1,327.00	1,287.00	1,330.00
			実績値	(単位:人)	295.00	276.00	/	
		達成度(%)			22.2	21.4		
	目標値の積算方法	妊婦歯科健診受診者数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		35.11		29.40
				一般財源(単位:千円)		35.11	29.40	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		母子保健法に基づく事業であり、「吹田市歯と口腔の健康づくり推進条例」の第8条基本的施策において成人期(妊産婦である期間を含む)における歯周病及び歯の喪失の予防のために必要な施策を行うとされており、まさしく本事業が相当するため、継続して実施する必要がある。今後、さらに受診率の向上に努める必要がある。					

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	妊婦歯科健診事業	事業区分	その他
事務事業番号	00609				

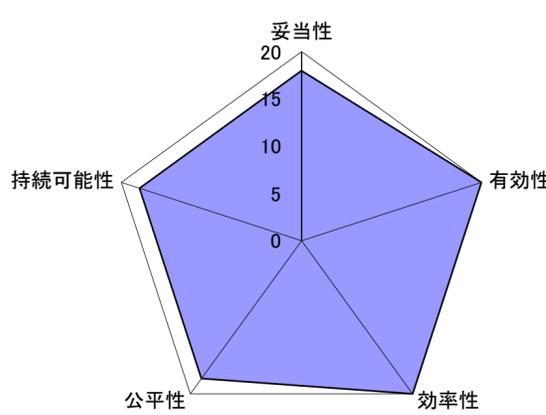
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	94	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健センター	事務事業番号	00609
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>妊娠中は、ホルモンバランスの変化により歯肉炎が発症しやすく、またつわりなどで口腔ケアが困難になり口腔内のトラブルが発症しやすい期間である。歯科疾患(う蝕、歯周病)の早期発見、早期治療だけでなく、歯科保健指導を妊娠期に行うことは、親から子どもへのむし菌の伝播を防ぐ啓発となるとともに、産後の口腔ケアの重要性についても啓発することができ、本事業の意義は大きい。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	未熟児専門相談事業				
担当部名	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成25年度	改正 内容												
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	母子保健法、吹田市母子保健事業実施要領													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	6	細節	20							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	未熟児で生まれた子の保護者												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	医師や発達指導員による専門相談を実施し、保護者の育児不安の軽減と未熟児の健康保持を図る。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	母子保健の向上が図られる。													
(7)	事業概要	医師や発達指導員による専門相談を実施し、保護者の育児不安の軽減と未熟児の健康保持を図る。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	4	項	1	目	17	大事業	2	中事業	11	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		572	473	566	548	614							
		人件費	職員数	人	1.00	0.50	0.50	0.50	0.50						
			総額(B)	千円	8,300	3,974	4,176	4,176	4,085						
		総事業費(A+B)		8,872	4,447	4,742	4,724	4,699							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		8,872	4,447	4,742	4,724	4,699							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
その他			0	0	0	0	0								
一般財源			8,872	4,447	4,742	4,724	4,699								
財源計(C+D)		8,872	4,447	4,742	4,724	4,699									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 医師・発達指導員による専門相談の受診児数	目標値	(単位:人)	40.00	64.00	70.00	
			実績値	(単位:人)	37.00	61.00		
			達成度(%)		92.5	95.3		
	目標値の積算方法	医師・発達指導員による専門相談の対象児数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		227.59	77.44	
				一般財源(単位:千円)		227.59	77.44	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法		医師・発達指導員による専門相談の対象児数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容 医師・発達指導員による専門相談の受診児数	目標値	(単位:人)	40.00	64.00	70.00
	実績値			(単位:人)	37.00	61.00		
	達成度(%)			92.5	95.3			
	目標値の積算方法	医師・発達指導員による専門相談の対象児数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		227.59	77.44	
				一般財源(単位:千円)		227.59	77.44	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法	医師・発達指導員による専門相談の対象児数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
①	活動内容				目標			
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		本事業は、大阪府からの権限移譲により、平成25年8月(平成25年4月生まれ以降の未熟児が対象)から実施している。高齢出産等の増加により、年々未熟児も増加していることから、今後も専門医や発達指導員による個別相談と保健師の訪問、保護者同士の交流会など、様々な方法で保護者の不安の軽減と未熟児の発育、発達の支援に努めていく。また、交流会時には保護者同士が安心して交流できるよう、保育担当のボランティアが必要である。					

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	未熟児専門相談事業	事業区分	その他
事務事業番号	00610				

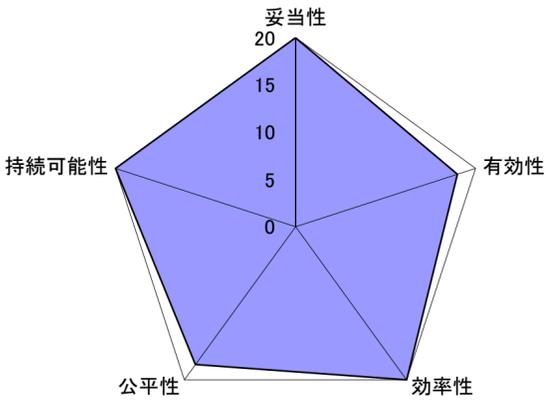
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	96	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健センター	事務事業番号	00610
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>府からの権限移譲を受けて、平成25年8月から事業を開始している。未熟児の保護者は、疾病や障がい、発育・発達に対する不安が特に大きいと言われており、専門相談では、医師、発達指導員、保健師が保護者の悩みに丁寧に対応するよう努めている。</p> <p>相談の結果、運動面や精神面の発達に遅れがみられる場合は、こども部が実施しているわかたけ園やバンビ親子教室等の療育機関へつないでいる。さらに、未熟児を出産した場合、母親に自責の念や子どもに育てにくさがあるなど養育上の問題も生じやすいため、訪問での支援も並行して行なっている。また、未熟児を育てる保護者同士が交流することで不安の軽減につながるよう未熟児家族交流会を年2回実施している。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	訪問指導事業				
担当部名	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成9年度	改正 内容												
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	母子保健法、吹田市母子保健事業実施要領													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input checked="" type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明		母子保健法に規定する新生児・未熟児・妊産婦のほか、乳幼児等に対しても実施。											
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	6	細節	20							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	乳幼児・妊産婦												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	母子に対する適切な保健指導を行い育児不安の軽減を図る。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	母子保健の向上及び虐待の防止が図られる。													
(7)	事業概要	保健指導を要する妊産婦や乳幼児(未熟児を含む)に対して、関係機関や本人、家族から訪問依頼のあった場合、保健師や助産師が訪問指導を実施する。 また、4か月児、1歳6か月児、3歳児健診の未受診児で支援が必要と思われる家庭を保健師が訪問し、より一層の育児支援を行い虐待防止に努めている。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	4	項	1	目	17	大事業	3	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		5,868	5,123	6,144	6,637	6,461							
		人件費	職員数	人	3.80	4.00	5.50	5.50	5.50						
			総額(B)	千円	31,540	31,788	45,936	45,936	44,935						
		総事業費(A+B)		37,408	36,911	52,080	52,573	51,396							
		特定財源(C)		989	887	989	982	1,337							
		(内訳)	国	491	494	491	491	665							
			府	491	393	491	491	665							
			その他	7	0	7	0	7							
		市負担(D)		36,419	36,024	51,091	51,591	50,059							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
一般財源	36,419		36,024	51,091	51,591	50,059									
財源計(C+D)		37,408	36,911	52,080	52,573	51,396									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	新生児・乳幼児・産婦訪問指導数	目標値	(単位:人)	1,480.00	1,500.00	0.00
			実績値	(単位:人)	1,257.00	1,337.00		
		達成度(%)				84.9	89.1	
	目標値の積算方法	出生数から未熟児を除く50%	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		28.33	39.32	
				一般財源(単位:千円)		27.63	38.59	
	②	指標内容	未熟児訪問指導数	目標値	(単位:人)	242.00	280.00	
実績値				(単位:人)	239.00	213.00		
達成度(%)					98.8	76.1		
目標値の積算方法		未熟児出生数の80%	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		149.02	246.82	
				一般財源(単位:千円)		145.31	242.21	
(2) 成果指標		①	指標内容	新生児・乳幼児・産婦訪問指導数	目標値	(単位:人)	1,257.00	1,337.00
	実績値			(単位:人)	1,257.00	1,337.00		
	達成度(%)				100.0	100.0		
	目標値の積算方法	新生児・乳幼児・産婦訪問指導数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		28.33	39.32	
				一般財源(単位:千円)		27.63	38.59	
	②	指標内容	未熟児訪問指導数	目標値	(単位:人)	239.00	213.00	0.00
実績値				(単位:人)	239.00	213.00		
達成度(%)					100.0	100.0		
目標値の積算方法		未熟児訪問指導数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		149.02	246.82	
	一般財源(単位:千円)				145.31	242.21		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		<p>国は、母子保健法を平成29年に改正予定としており、母子保健法に基づく母子保健事業を、虐待の発生予防・早期発見に資するものと明確化するとともに、利用者支援事業(母子保健型)(子育て世代包括支援センター)を「母子健康包括支援センター」と法定化する。妊娠期から支援の必要な妊婦や、未熟児、養育上気になる親子を早期に把握し、継続して支援するためには、保健師等の訪問等による支援がとて重要である。平成27年度に実施した、産後の母親の求める支援についてのアンケートでは、出産直後に助産師や保健師等の訪問を複数回希望する人が多く、出産直後の切れ目ない支援の実施に向け、母乳等の相談に十分対応できるよう助産師の予算の確保が求められる。また、未受診児訪問においては、「大阪府における乳幼児健診未受診児ガイドライン」に基づき、平成27年度から拡充して実施しているが、関係機関との連携等なお一層の強化に努める必要がある。効率よく訪問を実施するための移動手段としての電動自転車については、自転車本体の老朽化と、該当するバッテリーが販売終了となっているため、新規に買い替える必要がある。</p>					

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	訪問指導事業	事業区分	その他
事務事業番号	00611				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	98	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	保健センター	事務事業番号	00611
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>妊娠中は、若年や精神疾患があるなどのハイリスク妊婦について、訪問などによる支援を行い、必要な出産や育児の準備、サービスの導入を図り、支援体制を整えるなどを目的に訪問を行っている。また、出産後は、虐待予防の視点を持ち、出産後より早期に、保健師や助産師が訪問等を行い、育児上の悩みや不安の軽減を図っている。支援が必要な親子(未熟児・養育支援等)に対して、家庭に訪問し、生活に即した支援を行うことはとても重要であり、頻回に訪問するケースもある。家庭児童相談課や保健所等関係機関等と連携しながら支援を継続している。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

国は、平成29年度に母子保健法を改正。妊娠から子育て期までの切れ目ない支援等を実施する「母子健康包括センター」を法定化。さらに、母子保健法に基づく母子保健事業が児童虐待の発生予防・早期発見に資するものと明確化する。
本市においても、平成28年度から妊娠出産包括支援事業を創設。すべての妊婦に面接を行い、妊娠・出産、子育てに関する相談に対応するが、出産前後のきめ細やかな支援として、産前産後サポート事業や、産後ケア事業の創設、訪問指導事業の拡充が求められる。

事務事業評価調書

事務事業名	育児相談会事業				
担当部名	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成9年度	改正内容	育児相談会の対象月齢を乳児後期に変更し、予約制で実施。											
(2) 直近の改正	平成21年度													
(3) 根拠法令等	母子保健法、吹田市母子保健事業実施要領													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	6	細節	20							
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	乳児後期～1歳までの児とその親											
	結果 (どのような効果が得られるのか)	乳幼児とその親に適切な保健指導を行うとともに、育児支援を行い母子の健全な育成を図る。												
(7) 事業概要	保健センター、保育園、公民館等で保健師等の専門職が乳児後期～1歳までの児とその親を対象に身体測定、保健指導や各種相談、グループワーク等を行うことにより、育児不安を解消し、地域での仲間づくりを行う。また、地域の要望に合わせて育児相談を行う。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	4	項	1	目	17	大事業	4	中事業	1	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		182	139	183	182	179							
	人件費	職員数	人	2.20	2.50	2.50	2.50	2.50						
		総額(B)	千円	18,260	19,868	20,880	20,880	20,425						
	総事業費(A+B)		18,442	20,007	21,063	21,062	20,604							
	特定財源(C)		69	67	69	69	69							
	(内訳)	国	0	0	0	0	0							
		府	69	67	69	69	69							
		その他	0	0	0	0	0							
	市負担(D)		18,373	19,940	20,994	20,993	20,535							
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
		その他	0	0	0	0	0							
一般財源		18,373	19,940	20,994	20,993	20,535								
財源計(C+D)		18,442	20,007	21,063	21,062	20,604								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①												
		②												
		③												
<input type="checkbox"/> その他	内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	育児相談会(らっこクラブ)参加人数	目標値	(単位:人)	990.00	1,074.00	1,050.00
			実績値	(単位:人)	581.00	415.00	/	
		達成度(%)			58.7	38.6		
	目標値の積算方法	乳児後期健康診査対象児数の30%	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		30.33		50.75
				一般財源(単位:千円)		30.22	50.59	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法		来所者数の80%	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が困難な場合		①	指標内容	育児相談会(らっこクラブ)保健相談数	目標値	(単位:人)	480.00	332.00
	実績値			(単位:人)	474.00	317.00	/	
	達成度(%)			98.8	95.5			
	目標値の積算方法	来所者数の80%	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		37.18		66.44
				一般財源(単位:千円)		37.04	66.22	
	(4) 総合評価	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00		0.00
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
①		活動内容					目標	
	成果内容					達成状況		
今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 終期の設定							
	評価の説明	<p>本事業は、身近な場所で、専門職による相談や子育て支援事業の紹介などを行い、支援の必要な親子が地域で孤立することを防止してきた。しかし、本事業は乳児期後半の母子を対象としているため、自ら地域に出掛けられる時期の対象となり、地域での子育て支援事業の充実に伴い、事業実施の意義は薄れてきている。</p> <p>また、本事業は今年度から母子保健事業として展開している妊娠・出産包括支援事業の一部である「産前・産後サポート事業」に移行していくものと考えられるため、今後終期を検討していくものである。</p>						

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	育児相談会事業	事業区分	その他
事務事業番号	00613				

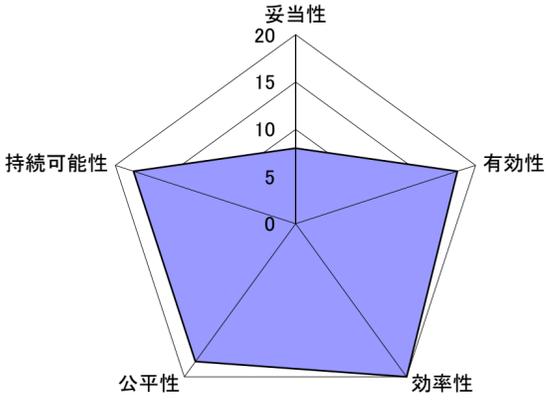
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	8	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 c. 実施意義は薄れてきている。(1点)	1	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 c. 市民ニーズは低下している。又は市民ニーズを把握できていない(1点)	1	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健センター	事務事業番号	00613
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>保健師、栄養士、歯科衛生士、保育士による相談により育児不安の軽減を図るとともに、必要に応じて、子育て支援事業の紹介などを行い、支援の必要な親子が地域で孤立することを防止している。しかし、本事業は乳児期後半の母子を対象としているが、自ら地域に出掛けられる時期の対象となり、地域での子育て支援事業の充実に伴い、事業実施の意義は薄れてきている。また、母子保健として、より早期の妊娠期、新生児期の母子に対応する事業の構築が必要があることから、本事業のありかたを検討する時期に来ている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	離乳食講習会事業				
担当部名	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成9年度	改正 内容												
(2) 直近の改正	なし													
(3) 根拠法令等	母子保健法、吹田市母子保健事業実施要領													
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
	一部にチェックした場合はその説明													
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり											
	節	6												
	細節	20												
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> 建設事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他											
	範囲等	生後5～6か月頃及び9～11か月頃の乳児の保護者												
	目標 (どういう状態にしたいのか)	離乳のすすめ方を講義・試食を通して学ぶとともに、保護者の育児不安の軽減し、健康づくりの基礎となる食習慣を身につける。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	母子保健の向上が図られる。												
(7) 事業概要	乳児のいる保護者を対象に離乳のすすめ方について講習会を実施する。ごっくんコースとかみかみコースの2コースに分け2会場で、市独自で作成したテキストを使用し、講義、試食、相談を行っている。													
(8) H27事業別 予算コード	会計	1	款	4	項	1	目	17	大事業	4	中事業	2	小事業	1
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
	事業費(A)		883	784	855	758	818							
	人件費	職員数	人	0.70	1.00	1.00	1.00	1.00						
		総額(B)	千円	5,810	7,947	8,352	8,352	8,170						
	総事業費(A+B)		6,693	8,731	9,207	9,110	8,988							
	特定財源(C)		0	0	0	0	0							
	(内訳)	国		0	0	0	0	0						
		府		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
	市負担(D)		6,693	8,731	9,207	9,110	8,988							
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
		その他		0	0	0	0	0						
		一般財源		6,693	8,731	9,207	9,110	8,988						
財源計(C+D)		6,693	8,731	9,207	9,110	8,988								
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
			②											
			③											
	主な委託内容													
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①											
②														
③														
<input type="checkbox"/> その他		内容												

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 ごっくんコース・かみかみコースの受講者数	目標値	(単位:人)	1,560.00	1,560.00	1,560.00
			実績値	(単位:人)	1,307.00	1,484.00	
		達成度(%)		83.8	95.1		
	目標値の積算方法 定員数 ごっくん(70人×12か月) かみかみ(60人×12か月)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	4.86	6.14		
			一般財源(単位:千円)	4.86	6.14		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(2) 成果指標		①	指標内容 個人相談を受けた数	目標値	(単位:人)	780.00	780.00
	実績値			(単位:人)	603.00	910.00	
	達成度(%)		77.3	116.7			
	目標値の積算方法 受講者の5割	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	10.53	10.01		
			一般財源(単位:千円)	10.53	10.01		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		母子保健法に基づき実施しており、継続して実施する必要がある。食育の観点から、食事、栄養バランス等の啓発により、児(子ども)だけでなく、保護者(大人)の望ましい食習慣を身に着けることにもつなげるように努めている。離乳食を開始するにあたり、不安の高い方が多く、ごっくんコースへのニーズが大変高まっているなか、タイムリーに受講ができるように会場や体制を工夫し実施しているが、今後の出生数増加に伴い受講希望者が増加すると受け入れが困難な状況が推測される。また、かみかみコースでは離乳食の進み具合や悩みも異なり個別の相談が多く、個々に応じた丁寧な対応が必要である。				

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	離乳食講習会事業	事業区分	その他
事務事業番号	00614				

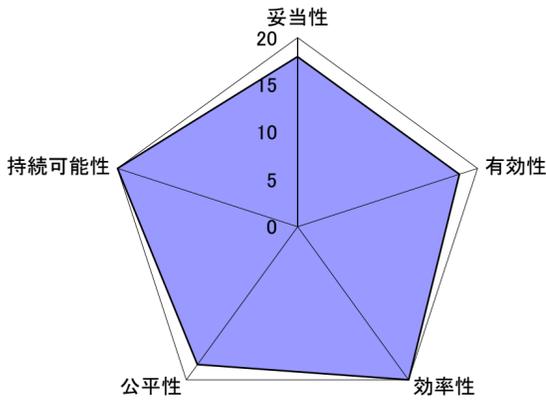
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	94	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健センター	事務事業番号	00614
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>講義、試食を通して離乳のすすめ方を学ぶことは、保護者の育児不安軽減につながっている。また、離乳期は食育の第1歩であり、インターネットなどでの情報が氾濫するなか、栄養士による離乳食に関する正しい知識の啓発と相談は、意義があると考えます。ごっくんコースの申し込みは、毎回ほぼ定員を満たすか超えるほどの希望があり、ニーズに沿うよう、定員や回数の見直しを行った。また、かみかみコースでは、離乳食の進み具合や悩みが異なり、個別相談が多い。引き続き市民サービス向上のため、内容の見直しについて検討が必要である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	妊婦(両親)教室事業				
担当部名	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成9年度	改正 内容												
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	母子保健法、吹田市母子保健事業実施要領													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	6	細節	20							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	妊婦及びその配偶者												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	妊婦及びその配偶者が妊娠、出産、育児の正しい知識や技術を習得する。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	母子保健の向上が図られる。													
(7)	事業概要	<p>集団学習により妊娠・出産・育児の知識や技術を身につけ、父親と母親が主体的に子を産み育てるという意識を持てる場とする。子育ての仲間づくりのきっかけの場とする。</p> <p>妊娠出産編は3回1コースで年12コース、父親育児編は月1回で年12回実施している。</p>													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	4	項	1	目	17	大事業	5	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		888	886	888	877	892							
		人件費	職員数	人	0.90	1.00	1.00	1.00	1.00						
			総額(B)	千円	7,470	7,947	8,352	8,352	8,170						
		総事業費(A+B)		8,358	8,833	9,240	9,229	9,062							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		8,358	8,833	9,240	9,229	9,062							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			8,358	8,833	9,240	9,229	9,062								
財源計(C+D)		8,358	8,833	9,240	9,229	9,062									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容 妊婦(両親)教室受講者実人数(妊娠出産編・父親育児編)	目標値	(単位:人)	900.00	900.00	/
			実績値	(単位:人)	792.00	837.00	
			達成度(%)		88.0	93.0	
	目標値の積算方法 定員(妊娠出産編:平成25年度よりセンター42名×6+分館36名×6=468、父親育児編 定員36名×12=432)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	10.15	11.03		
			一般財源(単位:千円)	10.15	11.03		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(2) 成果指標	①	指標内容 妊婦(両親)教室(妊娠出産編・父親育児編)に参加し、「教室に参加して参考になった」と回答した人数	目標値	(単位:人)	1,194.00	1,330.00	/
			実績値	(単位:人)	1,177.00	1,271.00	
			達成度(%)		98.6	95.6	
	目標値の積算方法 受講者数(延)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	6.83	7.26		
			一般財源(単位:千円)	6.83	7.26		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00			
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容				目標	
	②	成果内容				達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		<p>母子保健法に基づき実施している事業である。</p> <p>近年、核家族化が進む中、出産して初めて子どもに接するという親も少なくない。妊娠中から出産・育児についての具体的な知識を学び、出産や育児についてのイメージを持つことが、親としての自覚を育てることにつながり、産後の育児不安等の軽減や、虐待の予防につながる。</p> <p>吹田市では出生数の増加や働く妊婦も増え、土曜日に開催している「父親育児編」について、定員を超える日がみられている。多様化している市民のニーズに対応し、父親の育児参画を促すために、内容や定員等の見直しが必要である。また、出産後の子育てへのイメージが持てるよう、育児の実習や調理実習を取り入れるなど教室の運営方法を検討する。</p>				

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	妊婦(両親)教室事業	事業区分	その他
事務事業番号	00615				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	98	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健センター	事務事業番号	00615
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>妊娠出産編については、妊娠、出産、育児に対する知識の普及とともに、転出入の多い吹田市では、妊娠期からの仲間づくりや地域の子育て支援サービス等の情報提供を行い、地域で不安等を抱え孤立することを防ぐことを目的に実施している。具体的な育児のイメージが持てるよう、育児や調理等の実習を多く取り入れることが必要。また、父親育児編については、初めて父親になる人を対象に、出産・育児に対する理解を深め、父親としての自覚を養い、その後の母親への精神的なサポートも含め、育児参画を促すことを目的に実施しているが、大変申し込みが多く、臨時開催を行い対応している。様々な市民のニーズに対応ができるよう運営方法等の見直しを行い、吹田版ネウボラの構築の一環を担っていく重要な事業である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	未熟児養育医療給付事業				
担当部名	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成25年度	改正 内容												
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	母子保健法													
(4)	市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	6	細節	20							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	母子保健法第6条第6項の規定による未熟児												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	種々の未熟性があり、入院養育を必要とする未熟児に対して、その養育に必要となる医療の給付を行うことにより、未熟性の解消及び健康保持を図る。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	母子保健の向上が図られる。													
(7)	事業概要	出生体重2,000g以下の低体重等、種々の未熟性があり、養育医療指定医療機関の医師が入院養育が必要であると認めた未熟児を対象に、当該医療機関での入院養育に要する医療費の一部を公費負担する。(世帯の所得税額等に応じた自己負担金徴収あり)													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	4	項	1	目	17	大事業	6	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		25,027	22,597	25,026	17,482	25,025							
		人件費	職員数	0.20	1.00	1.00	1.00	1.00							
			総額(B)	1,660	7,947	8,352	8,352	8,170							
		総事業費(A+B)		26,687	30,544	33,378	25,834	33,195							
		特定財源(C)		18,800	14,100	19,250	11,156	19,550							
		(内訳)	国	12,500	7,500	12,500	7,500	12,500							
			府	6,250	5,337	6,250	3,291	6,250							
			その他	50	1,263	500	365	800							
		市負担(D)		7,887	16,444	14,128	14,678	13,645							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
一般財源	7,887		16,444	14,128	14,678	13,645									
財源計(C+D)		26,687	30,544	33,378	25,834	33,195									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	大阪府国民健康保険団体連合会										
				②	大阪府社会保険診療報酬支払基金										
				③											
		主な委託内容		医療費レセプト審査及び診療報酬支払事務											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
			達成度(%)		0.0	0.0	
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)			0.0	0.0			
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容	種々の未熟性があり、入院養育を必要とする未熟児に対して、その養育に必要な医療の給付を行うことにより、未熟性の解消及び健康保持を図る。			目標	未熟児の未熟性の解消及び健康保持、母子保健の向上。
	②	成果内容	対象児の未熟性の解消及び健康保持と保護者の負担軽減のため、入院養育に必要な医療費を公費負担することにより、安心安全で適切な治療が受けられる。			達成状況	未熟児の未熟性の解消及び健康保持、母子保健の向上の達成状況を測定する代表的な指標設定は困難。
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定
	評価の説明		未熟児養育医療の給付決定にあたっては、対象となる未熟児の世帯の所得税額等に応じて自己負担額を徴収する必要がある。 今後も事業の実施を継続していくにあたり、医療給付に係る事務に併せて、自己負担金の滞納等が生じることのないよう、適切に処理していくことも重要であり、そのためには適切な人員配置及びシステム構築を図る必要があると考える。				

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	未熟児養育医療給付事業	事業区分	その他
事務事業番号	00616				

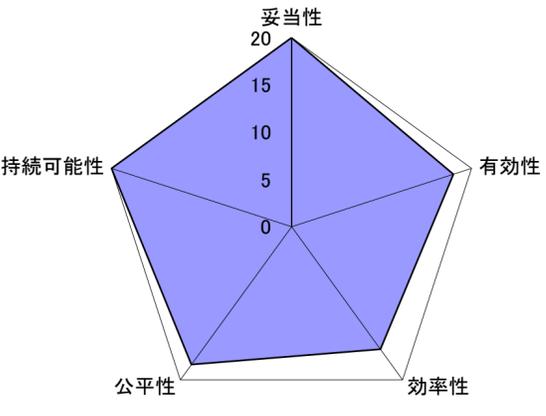
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健センター	事務事業番号	00616
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>母子保健法に基づく義務的事業であり、未熟児の医療給付を行うことで、未熟性の解消や医療負担の軽減が図られるため、今後も継続して実施する必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

未熟児養育医療の給付決定にあたっては、対象となる未熟児の世帯の所得税額等に応じて自己負担額を徴収する必要がある。今後も事業の実施を継続していくにあたり、医療給付に係る事務に併せて、自己負担金の滞納等が生じることのないよう、適切に処理していくことも重要であり、そのためには適切な人員配置及びシステム構築を図る必要があると考える。

事務事業評価調書

事務事業名	子どもアレルギー予防事業				
担当部名	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成26年度	改正 内容												
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	母子保健法、公害健康被害予防事業助成金交付要綱													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	6	細節	20							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	4か月児・1歳6か月児・3歳児健診の受診児												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	乳幼児健診等でアレルギーハイリスク児を把握し、専門医による診察・相談及び保健師等による保健指導を実施することで、気管支ぜん息等のアレルギー疾患発症の未然防止を図る。												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	母子保健の向上が図られる。													
(7)	事業概要	4か月児・1歳6か月児・3歳児健康診査の受診児にアレルギーに関するアンケートを実施し、アンケートからスクリーニングされた乳幼児・保護者に対し保健指導を実施。フォローが必要とされた児に対し、医師による指導・相談等を実施。また、保健センターが実施する各種事業の場において、フォローが必要と判断された児や就学前でフォローを希望する児に対しても、医師による診察・指導を実施。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	4	項	1	目	17	大事業	7	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		3,825	3,672	3,858	3,417	4,131							
		人件費	職員数	人	0.20	1.00	1.00	1.00	1.00						
			総額(B)	千円	1,660	7,947	8,352	8,352	8,170						
		総事業費(A+B)		5,485	11,619	12,210	11,769	12,301							
		特定財源(C)		2,981	3,663	3,858	3,616	4,131							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	2,981	3,663	3,858	3,616	4,131							
		市負担(D)		2,504	7,956	8,352	8,153	8,170							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
一般財源	2,504		7,956	8,352	8,153	8,170									
財源計(C+D)		5,485	11,619	12,210	11,769	12,301									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		主な委託内容													
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他		内容													

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 こどもアレルギー専門相談受診児数	目標値	(単位:人)	80.00	120.00	120.00	
			実績値	(単位:人)	90.00	98.00		
			達成度(%)		112.5	81.7		
	目標値の積算方法	こどもアレルギー専門相談定員数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		58.47	120.09	
				一般財源(単位:千円)		17.77	83.19	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(2) 成果指標	①	指標内容 受診後アンケートで「受診してよかった」と回答した保護者の数	目標値	(単位:人)	90.00	98.00	120.00	
			実績値	(単位:人)	80.00	85.00		
			達成度(%)		88.9	86.7		
	目標値の積算方法	アレルギー専門相談受診児数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		65.78	138.46	
				一般財源(単位:千円)		19.99	95.92	
	②	指標内容		目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
	一般財源(単位:千円)				0.00	0.00		
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		平成26年7月より、独立行政法人環境再生保全機構の助成を受け、実施している。受診者の評価も高く、アレルギー疾患に対する正しい知識と適切な治療を行い、保護者の不安を軽減するためにも継続的な実施が必要である。					

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	子どもアレルギー予防事業	事業区分	その他
事務事業番号	00618				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
		評価点合計 (100点満点)	98	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))

所属名	保健センター	事務事業番号	00618
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>4か月児健診、1歳6か月児健診、3歳児健診の健診票にアレルギーに関する問診項目を追加し、平成26年7月から、1歳6か月児健診、3歳児健診の集団健診の際に、問診にてアレルギーに関するスクリーニングを実施し、要指導と判断された児に対してアレルギー専門保健師による相談を実施するとともに、平成26年8月からはアレルギー専門医や保健師、栄養士による「子どもアレルギー専門相談」を実施し、アレルギー疾患に対する正しい知識と適切な治療について保健指導を行い、症状の軽減や、保護者の精神的負担の軽減を図っている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	風しん予防接種促進事業				
担当部名	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成26年度	改正 内容												
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	大阪府風しんワクチン等接種事業費補助金交付要綱、吹田市予防接種に係る自己負担額助成金交付要綱													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	6	細節	20							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	妊娠を希望する女性及びその配偶者、妊娠している女性の配偶者のうち、風しん抗体検査の結果、十分な抗体価がなく予防接種を必要とする者。												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	風しん予防接種の促進を図り、風しんの感染拡大及び出生児の先天性風しん症候群の発症を防止する。												
		結果 (どのような効果が得られるのか)	公衆衛生の向上及び増進が図られる。												
(7)	事業概要	出生児の先天性風しん症候群の発症を防止することを目的に、妊娠を希望する女性及びその配偶者、妊娠している女性の配偶者のうち、風しん抗体検査の結果、十分な抗体価がなく予防接種を必要とする者に対し、風しん予防接種に要した費用の一部を助成する。 【平成26年度から平成30年度までに限り実施】													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	4	項	1	目	3	大事業	4	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		2,111	1,608	1,562	1,532	1,617							
		人件費	職員数	人	0.00	0.20	0.20	0.20							
			総額(B)	千円	0	1,590	1,671	1,671							
		総事業費(A+B)		2,111	3,198	3,233	3,203	3,251							
		特定財源(C)		1,054	803	780	765	807							
		(内訳)	国	0	0	0	0	0							
			府	1,054	803	780	765	807							
			その他	0	0	0	0	0							
		市負担(D)		1,057	2,394	2,453	2,438	2,444							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
一般財源	1,057		2,394	2,453	2,438	2,444									
財源計(C+D)		2,111	3,197	3,233	3,203	3,251									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①											
				②											
				③											
		<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①	対象となる市民										
				②											
③															
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	助成人数	目標値	(単位:人)	308.00	260.00	270.00
			実績値	(単位:人)	270.00	257.00	/	
		達成度(%)		87.7	98.8			
	目標値の積算方法	予算積算人数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	5.96	12.46		
				一般財源(単位:千円)	2.98	9.49		
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00	/	
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
(3) が 困難 な 場合		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00	/	
	達成度(%)		0.0	0.0				
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00		
				一般財源(単位:千円)	0.00	0.00		
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00	/		
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
①	活動内容			目標				
	②	成果内容	風しん感染拡大及び出生児の先天性風しん症候群の防止。	達成状況	定量的な指標を示すのは困難。			
(4) 総合評価	今後の方向性 (実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定						
	評価の説明	平成25年から風しんが主に首都圏と近畿地方で大流行しており、平成25年10月時点での前年比として、全国で約6倍、大阪府では約8倍と過去最悪のペースで感染が拡大、特に過去に予防接種法による定期接種の機会がなかった世代を含めた20～40歳代前半までの男性の間で感染が拡大、それに伴い、出産・子育て世代への感染も拡大したことから、出生児の「先天性風しん症候群」の発症が急増した。大阪府では平成26年3月に「先天性風しん症候群対策事業」として府内市町村に対する補助金交付事業等の実施(平成26年度～平成30年度)を決定し、府民の風しん抗体保有率向上と出生児の「先天性風しん症候群」発症防止を府内全域で推し進めることとした。本市においても、大阪府の補助金制度を活用する形で本事業を実施することにより、市区域はもとより府内広域での風しん感染拡大及び出生児の先天性風しん症候群の発症防止に繋がると考える。						

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	風しん予防接種促進事業	事業区分	その他
事務事業番号	00624				

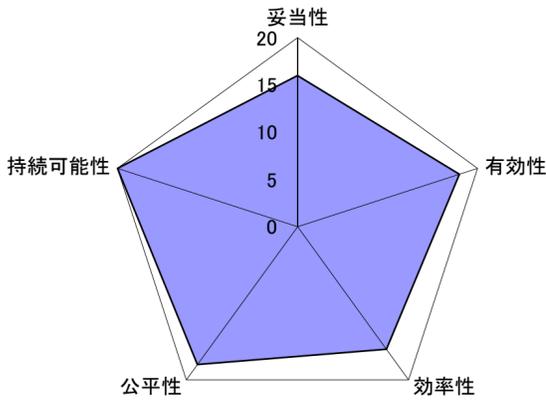
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健センター	事務事業番号	00624
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>風しん予防接種を促進して、風しんの感染拡大及び出生児の先天性風しん症候群の発症防止に努めるためにも、本事業の必要性は極めて大きいと考える。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

本事業は大阪府の補助金制度を活用する形で実施しているが、府内各市町村においても同様の取り組みが行われていることから、府内広域での感染拡大及び出生児の先天性風しん症候群の防止においても効果があると考えます。

事務事業評価調書

事務事業名	健康管理拠点拡大モデル事業				
担当部名	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成26年度	改正 内容												
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	なし													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	6	細節	20							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他									
		範囲等	主に特定健診対象年齢40～74歳の市民												
		目標 (どういう状態にしたいのか)	・特定健診実施率、特定保健指導実施率の向上 ・健康意識の弱くなりがちの人や健診を受けていない人に対する健康意識の向上												
	結果 (どのような効果が得られるのか)	健康管理拠点の拡大と健康相談の機会の増加により、健康意識の向上と生活習慣の改善等が促進され、市民の健康寿命の延伸を図ることができる。													
(7)	事業概要	テレビ電話端末による健康相談を気軽に受けることができるとともに、血圧計や体重計を活用して市民が自ら健康管理を行う拠点を設置する。 また、公募した市民モニターが拠点を活用した定期的な保健指導を受け、その効果から当事業の評価を行う。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	4	項	1	目	15	大事業	2	中事業	2	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		24,409	16,954	24,447	11,762	13,921							
		人件費	職員数	人	1.00	1.50	2.00	1.00	0.70						
			総額(B)	千円	8,300	11,921	16,704	8,352	5,719						
		総事業費(A+B)		32,709	28,875	41,151	20,114	19,640							
		特定財源(C)		24,409	16,919	24,447	22	13,921							
		(内訳)	国	24,385	16,907	24,385	0	13,889							
			府	0	0	0	0	0							
			その他	24	12	62	22	32							
		市負担(D)		8,300	11,956	16,704	20,092	5,719							
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0							
			その他	0	0	0	0	0							
一般財源	8,300		11,956	16,704	20,092	5,719									
財源計(C+D)		32,709	28,875	41,151	20,114	19,640									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	栄電気株式会社										
				②											
				③											
		主な委託内容		健康相談拠点拡大等業務(システム開発等)											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	健康管理拠点の拡大	目標値	(単位:か所)	60.00	60.00	60.00
			実績値	(単位:か所)	37.00	53.00		
		達成度(%)		61.7	88.3			
	目標値の積算方法	健康管理拠点60か所を目標	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		672.08	379.51	
				一般財源(単位:千円)		214.78	379.09	
	(2) 成果指標	②	指標内容	市民モニターの募集	目標値	(単位:人)	240.00	240.00
実績値				(単位:人)	76.00	54.00		
達成度(%)			31.7	22.5				
目標値の積算方法		年度毎に1回募集	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		327.20	372.48	
				一般財源(単位:千円)		104.57	372.07	
(3) 困難な場合		①	指標内容	平成28年度特定健診実施率58% ※平成27年度は速報値	目標値	(単位:%)	0.00	0.00
	実績値			(単位:%)	47.20	46.50		
	達成度(%)		0.0	0.0				
	目標値の積算方法	特定健診実施率(国民健康保険室)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		526.84	432.56	
				一般財源(単位:千円)		168.37	432.09	
	②	指標内容	平成28年度特定保健指導実施率50% ※平成27年度は速報値	目標値	(単位:%)	0.00	0.00	50.00
実績値			(単位:%)	15.60	17.90			
達成度(%)		0.0	0.0					
目標値の積算方法	特定健診実施率(国民健康保険室)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		1,594.04	1,123.69		
			一般財源(単位:千円)		509.42	1,122.46		
①	活動内容					目標		
	②	成果内容					達成状況	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定		
	評価の説明	<p>平成27年度においては、平成26年度に引き続き健康管理拠点の整備を行い、市内の地区公民館、市民体育館等の公共施設や、スーパーマーケット、コンビニエンスストア、鉄道駅、金融機関等の多様な民間施設等に設置し、目標値に近い設置か所数まで拡大することができた。</p> <p>また、市民モニターを募り、保健師、栄養士によるテレビ電話健康相談、歩数計を活用した健康管理による効果測定を実施し、アンケート調査で生活習慣の改善に取り組んでいる人の割合が増加するなど、概ね良好な結果が得られた。</p> <p>一方で、一般利用件数は伸び悩んでおり、より一層の利用促進が課題である。</p> <p>モデル事業としては平成28年度で廃止となることから、平成29年度以降については、利用状況や費用対効果を考慮し、事業の再構築について検討する。</p>						

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	健康管理拠点拡大モデル事業	事業区分	その他
事務事業番号	01087				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点		
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点		
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。		
		c. 単位当たりコストは高く、見直す必要がある。(1点)	1	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点		
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点		
(5) 持続可能性 (20点)	10	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点		
評価点合計 (100点満点)	74	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健センター	事務事業番号	01087
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本事業における持続可能性の評価が低く、事業手法の改善などに取組むことで効率性や有効性の向上を図るとともに、今後の事業のあり方を検討していく必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

健康管理拠点拡大モデル事業については、厚生労働省「地域健康増進促進事業」を活用している。
 厚生労働省「地域健康増進促進事業」(補助率10/10)は、健康寿命の延伸を推進する日本再興戦略(平成25年6月閣議決定)を踏まえ、「健康管理機会の増大」や「健康づくりの拠点の拡大」を進めるため、自治体等が実施する事業に対して厚生労働省が支援するもので、平成28年度まで継続して実施される予定である。

事務事業評価調書

事務事業名	健康情報管理システム改修事業				
担当部名	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成27年度	改正内容	なし											
(2)	直近の改正	なし													
(3)	根拠法令等	予防接種法、母子保健法、健康増進法													
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乗せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
		一部にチェックした場合はその説明													
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	6	細節	20							
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他	範囲等 予防接種法、母子保健法、健康増進法等に基づく予防接種及び各種健(検)診を受診することができる者								
		目標 (どういう状態にしたいのか)	全庁基幹系システム再構築に伴う健康情報管理システムのプログラム改修												
		結果 (どのような効果が得られるのか)	全庁的なデータ連携が可能になり、住基情報や税情報等の他課が保有している情報のやりとりが容易になり、業務の効率化が図れる。												
(7)	事業概要	各種法改正の対応に伴う健康情報管理システムのプログラム改修を実施													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	4	項	1	目	14	大事業	8	中事業	1	小事業	1
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)							
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)							
		事業費(A)		0	0	17,611	22,397	7,096							
		人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.10	0.10	0.10						
			総額(B)	千円	0	0	836	804	817						
		総事業費(A+B)		0	0	18,447	23,201	7,913							
		特定財源(C)		0	0	0	0	0							
		(内訳)	国		0	0	0	0	0						
			府		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
		市負担(D)		0	0	17,611	22,397	7,913							
		(内訳)	地方債		0	0	0	0	0						
			その他		0	0	0	0	0						
一般財源			0	0	17,611	22,397	7,913								
財源計(C+D)		0	0	17,611	22,397	7,913									
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施													
		<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①	株式会社I・C・S										
				②											
				③											
		主な委託内容		健康情報管理システム改修											
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①													
		②													
		③													
<input type="checkbox"/> その他	内容														

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00				
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00				
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(3) が困難な場合を示す	①	活動内容				目標		
	②	成果内容	全庁基幹系システムのネットワーク上で健康情報管理システムが稼働するよう改修を行うことで、団体内の情報連携が容易になる。			達成状況	予定通り進捗している。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		平成28年度においては、平成29年1月から新しく稼働する税システムとの情報連携の影響対応を行う必要があります。また、今後の制度改正に対応できるようシステム改修を行うことにより、円滑に業務を遂行することが可能と考えます。					

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	健康情報管理システム改修事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01445				

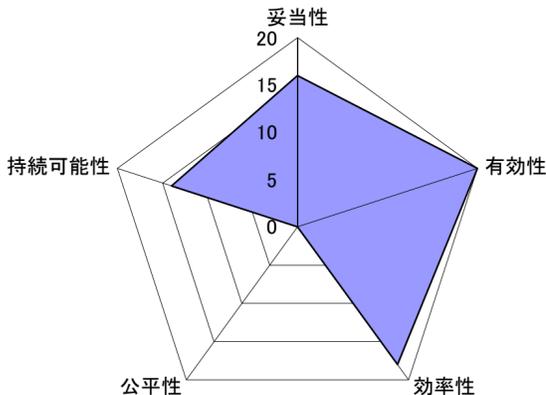
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		内部管理		点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		内部管理		点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		内部管理		点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。				
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点		
評価点合計 (100点満点)	85	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健センター	事務事業番号	01445
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>改修前は所内に設置のサーバーでシステムを管理しており、本庁のホストコンピューターから情報を受け取る方法で情報連携を行っていたが、改修後の新システムにおいては情報提供課から直接データを受け取ることができる為、情報連携が円滑に行われ、ひいては業務の効率化が図れている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	すいた健康サポーター事業				
担当部名	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成27年度	改正内容	なし				
(2) 直近の改正	なし						
(3) 根拠法令等	なし						
(4) 市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)				
	一部にチェックした場合はその説明						
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	6	細節	20
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他		
	範囲等	市民・地区福祉委員会等					
	目標 (どういう状態にしたいのか)	「すいた健康サポーター」を養成し、主体的・積極的な健康づくり及び地域に根差した健康づくりを推進する。					
	結果 (どのような効果が得られるのか)	健康づくりを推進することで、健康寿命が延伸する。					
(7) 事業概要	<p>すいた健康サポーター事業は、市民及び地区福祉委員会を対象とした健康づくりについての知識と手法を学ぶことのできる講座の開催し、一定の基準を満たした受講者に「すいた健康サポーター」修了証を発行している。「すいた健康サポーター」は、自らの健康づくりに努めるとともに、家族や友人に対して、また、地域活動等において健康づくりの啓発を実践することで健康づくりを推進する。</p>						
(8) H27事業別 予算コード	会計	款	項	目	大事業	中事業	小事業
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
	事業費(A)		0	0	506	447	479
	人件費	職員数	0.00	0.00	1.00	1.00	0.75
		総額(B)	0	0	8,352	8,040	6,128
	総事業費(A+B)		0	0	8,858	8,487	6,607
	特定財源(C)		0	0	0	0	0
	(内訳)	国	0	0	0	0	0
		府	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	市負担(D)		0	0	506	447	479
	(内訳)	地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源		0	0	506	447	479	
財源計(C+D)		0	0	506	447	479	
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施						
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①				
			②				
			③				
主な委託内容							
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①					
		②					
		③					
<input type="checkbox"/> その他	内容						

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 すいた健康サポーター	目標値	(単位:人)	0.00	150.00	/	
			実績値	(単位:人)	0.00	83.00		
			達成度(%)		0.0	55.3		
	目標値の積算方法 すいた健康サポーター講座の受講者のうち、修了証の発行者数(前年度実績)	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	5.39			
			一般財源(単位:千円)	0.00	5.39			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00				
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(2) 成果指標	①	指標内容 健康づくり啓発用品の貸出件数	目標値	(単位:件)	0.00	2.00	/	
			実績値	(単位:件)	0.00	2.00		
			達成度(%)		0.0	100.0		
	目標値の積算方法 前年度実績	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	223.50			
			一般財源(単位:千円)	0.00	223.50			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00				
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容				達成状況		
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		市民・地区福祉委員会を対象とした「すいた健康サポーター」の講座の実施については、継続して実施する。さらに、市民一人ひとりの健康づくりの推進と地域における健康づくりの輪が幾重にも広がることが重要であるので、平成28年度(2016年度)からは小学生を対象とした「キッズ健康サポーター」を実施するとともに、事業所、地域のグループ・サークルなどの活動団体にも対象を広げることやすいた健康サポーターの活動を支援する方策(健康づくり啓発用品や地区福祉委員会の活動内容の紹介など)について検討する。					

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	すいた健康サポーター事業	事業区分	その他
事務事業番号	01492				

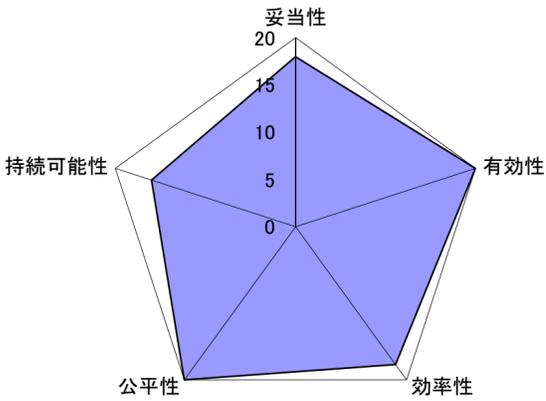
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健センター	事務事業番号	01492
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	 <table border="1" style="display: none;"> <caption>各視点からの評価結果 (Radar Chart Data)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価点数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価点数	妥当性	20	有効性	15	効率性	10	公平性	10	持続可能性	10
視点	評価点数														
妥当性	20														
有効性	15														
効率性	10														
公平性	10														
持続可能性	10														
(3)現状分析	<p>平成27年度(2015年度)からの新規事業として開始し、すいた健康サポーター講座には健康づくりに意欲的な方が受講されている。また、健康づくり啓発用品の貸出を始め、地域での活動等において活用していただいている。</p> <p>引き続き受講者は見込めるものと考えていますが、平成28年度(2016年度)からは小学生を対象とした「キッズ健康サポーター」を実施し対象を広げます。今後は事業所、地域のグループ・サークルなどの活動団体にも対象を広げること、すいた健康サポーターの活動を支援する方策(健康づくり啓発用品や地区福祉委員会の活動内容の紹介など)について検討する必要があると考えます。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価調書

事務事業名	地域自殺対策事業				
担当部名	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1)	事業開始年度	平成27年度	改正 内容						
(2)	直近の改正	なし							
(3)	根拠法令等	自殺対策基本法							
(4)	市単独事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input type="checkbox"/> なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
		一部にチェックした場合はその説明							
(5)	総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	6	細節	20	
(6)	目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> その他			
		範囲等	市民						
		目標 (どういう状態にしたいのか)	自殺の危険性の高い人を早期に発見する。						
	結果 (どのような効果が得られるのか)	自殺者数を減らす。							
(7)	事業概要	全国的に深刻な社会問題となっている自殺問題について、広く市民に啓発を行い、市民一人ひとりが正しい知識を身につけ、周囲の人の悩みに気づき、耳を傾けられるようになることで、自殺の危険性が高い人を早期に発見し、未然に防ぐ一次予防対策を実施する。具体的には、自殺リスクの高い人と接する可能性のある人へ研修等を行う。							
(8)	H27事業別 予算コード	会計	款	項	目	大事業	中事業	小事業	
(9)	事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)	
				予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
		事業費(A)		0	0	119	117	161	
		人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.20	0.20	0.20
			総額(B)	千円	0	0	1,801	1,691	1,768
		総事業費(A+B)		0	0	1,920	1,808	1,929	
		特定財源(C)		0	0	0	22	132	
		(内訳)	国	0	0	0	0	0	
			府	0	0	0	22	132	
			その他	0	0	0	0	0	
		市負担(D)		0	0	119	95	29	
		(内訳)	地方債	0	0	0	0	0	
			その他	0	0	0	0	0	
一般財源	0		0	119	95	29			
財源計(C+D)		0	0	119	117	161			
(10)	実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施							
		<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	①					
				②					
				③					
		主な委託内容							
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①							
		②							
		③							
<input type="checkbox"/> その他	内容								

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容 ゲートキーパー研修参加者数	目標値	(単位:)	150.00	150.00	150.00	
			実績値	(単位:)	123.00	139.00		
		達成度(%)				82.0		92.7
	目標値の積算方法	研修定員数	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.84	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.68	
	(2) 成果指標	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
実績値				(単位:)	0.00	0.00		
達成度(%)					0.0	0.0		
目標値の積算方法			単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
(3) が 困難な場合を示す		①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
	実績値			(単位:)	0.00	0.00		
	達成度(%)				0.0	0.0		
	目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
				一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00	
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)				0.0	0.0			
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
			一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
①	活動内容				目標			
	②	成果内容	吹田市内の自殺者数を減少させる			達成状況	平成26年(2014年)は45人であった自殺者数が、平成27年(2015年)は35人となり減少している。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定		
	評価の説明	我が国における年間自殺者数は近年減少傾向にあるものの、依然として24,000人(平成27年)を超えており、吹田市内においても、平成26年の自殺者数が45人となっている。また、平成28年4月から施行されることとなっている自殺対策基本法の一部を改正する法律では、市町村において地域の実情を勘案した自殺対策計画を策定することとされているなど、自治体には地域の実態に見合った自殺対策施策の更なる展開が求められていることから、本事業の継続は必要であると考えます。						

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	地域自殺対策事業	事業区分	その他
事務事業番号	01501				

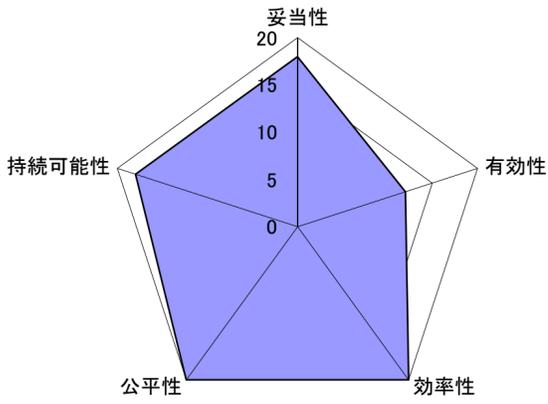
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点		
(2) 有効性 (20点)	12	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。		
b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点		
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5	点
		②サービスの水準は適正ですか。		
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点		
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありますか。		
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点		
評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	保健センター	事務事業番号	01501
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他												
(2)各視点からの評価結果	 <table border="1"> <caption>各視点からの評価結果 (推定値)</caption> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>評価結果 (0-20)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>妥当性</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>持続可能性</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table>			視点	評価結果 (0-20)	妥当性	18	有効性	15	効率性	8	公平性	10	持続可能性	12
視点	評価結果 (0-20)														
妥当性	18														
有効性	15														
効率性	8														
公平性	10														
持続可能性	12														
(3)現状分析	<p>本市において、自殺者数は減少傾向にあるものの、依然として毎年40人程度で推移している状況であるが、自殺者数の減少に向け、身近な人が悩んでいる人に気づき、必要な支援につなげられるゲートキーパーの養成について取り組むなど、効果をあげる努力をしている。</p>														

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成28年4月から施行されることとなっている自殺対策基本法の一部を改正する法律では、市町村において地域の実情を勘案した自殺対策計画を策定することとされており、今後、計画の策定にあたっては府の動向も注視しながら検討していく。

事務事業評価調書

事務事業名	マイナンバー制度導入システム改修事業				
担当部名	健康医療部	室課名	保健センター	室課長名	北川 幸子

1 事務事業の概要

(1) 事業開始年度	平成27年度	改正 内容	マイナンバーの利用範囲の拡充					
(2) 直近の改正	平成27年度							
(3) 根拠法令等	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律							
(4) 市単独事業区分	<input type="checkbox"/> 全部	<input type="checkbox"/> 一部(上乘せ、横出し等あり)	<input checked="" type="checkbox"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)					
	一部にチェックした場合はその説明							
(5) 総合計画の体系	章	3	健康で安心して暮らせるまちづくり	節	6	細節	20	
(6) 目的	対象 (誰を、何を)	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 建設事業	<input type="checkbox"/> その他			
	目標 (どういう状態にしたいのか)	範囲等	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律(番号法)において規定されている事務のうち、保健センターで実施している事務の対象者					
	結果 (どのような効果が得られるのか)	社会保険・税番号制度(マイナンバー制度)に対応した健康情報管理システムのプログラム改修						
(7) 事業概要	個人番号(マイナンバー)を利用した対象者情報の管理が可能になる。							
(7) 事業概要	社会保険・税番号制度(マイナンバー制度)導入に伴う、健康情報管理システムのプログラム改修の実施							
(8) H27事業別 予算コード	会計	款	項	目	大事業	中事業	小事業	
(9) 事業費と 財源の内訳	項目		平成26年度 (2014年度)		平成27年度 (2015年度)		平成28年度 (2016年度)	
			予算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)	
	事業費(A)		0	0	6,610	6,607	1,944	
	人件費	職員数	人	0.00	0.00	0.10	0.10	0.10
		総額(B)	千円	0	0	901	846	884
	総事業費(A+B)		0	0	7,511	7,453	2,828	
	特定財源(C)		0	0	2,741	2,741	677	
	(内訳)	国		0	0	2,741	2,741	677
		府		0	0	0	0	0
		その他		0	0	0	0	0
	市負担(D)		0	0	3,869	3,866	1,267	
	(内訳)	地方債		0	0	0	0	0
		その他		0	0	0	0	0
一般財源		0	0	3,869	3,866	1,267		
財源計(C+D)		0	0	6,610	6,607	1,944		
(10) 実施方法 (該当するものは全部チェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施							
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先	① 株式会社I・C・S					
			②					
			③					
	主な委託内容		健康情報管理システム改修					
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先	①						
		②						
		③						
<input type="checkbox"/> その他	内容							

2 評価の指標等

指標項目			項目		平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1) 活動指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00				
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(2) 成果指標	①	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00	/	
			実績値	(単位:)	0.00	0.00		
			達成度(%)		0.0	0.0		
	目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00			
			一般財源(単位:千円)	0.00	0.00			
	②	指標内容	目標値	(単位:)	0.00	0.00		/
実績値			(単位:)	0.00	0.00			
達成度(%)			0.0	0.0				
目標値の積算方法	単位当たりコスト	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00				
		一般財源(単位:千円)	0.00	0.00				
(3) が困難な場合	①	活動内容				目標		
	②	成果内容	個人番号(マイナンバー)を利用した対象者情報の管理が可能になる。			達成状況	予定通り進捗している。	
(4) 総合評価	今後の方向性(実施計画)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の設定	
	評価の説明		平成28年度は総合運用テスト準備及び総合運用テストを実施いたします。 平成29年7月から開始される情報提供ネットワークシステムを通じた情報連携の実施に向けて、番号法に基づく情報提供及び情報照会の一連の流れの各種テストを行います。					

事務事業分析シート

所属名	保健センター	事業名	マイナンバー制度導入システム改修事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01503				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点			
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点	
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点	
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点	
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点	
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点	
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点	
(2) 有効性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点	
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点	
		①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点	
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点	
(3) 効率性 (20点)	20	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点	
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点	
		①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理		点	
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理		点	
(4) 公平性 (20点)	0	③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理		点	
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理		点	
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点	
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点	
(5) 持続可能性 (20点)	16	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点	
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点	
		評価点合計 (100点満点)	87	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	保健センター	事務事業番号	01503
-----	--------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成28年1月1日からの個人番号(マイナンバー)利用開始に向けて、健康情報管理システムの改修を行った。新システム下においては、個人番号(マイナンバー)を利用した対象者情報の管理が可能になった。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)